学則の変更の趣旨等を記載した書類

１．学則変更（収容定員変更）の内容

鹿児島大学医学部医学科の入学定員110名については、平成21年度に「経済財政改革の基本方針2008」に基づき５名の恒久定員増、同年度に「緊急医師確保対策」により５名、平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009」により10名、平成23年度に「新成長戦略」による歯学部入学定員の削減を行う大学の特例(以下「歯学部振替枠」という。)により２名、令和２年度に地域の医師確保等の観点により３名、令和５年度に歯学部振替枠の廃止に伴い２名のそれぞれ臨時定員増を実施した。

今回の入学定員増20名は、令和７年度までの臨時定員増を維持するものであり、これにより令和８年度の入学定員が110名となる。

２．学則変更（収容定員変更）の必要性

鹿児島県は、南北600㎞におよび、多くの離島へき地を抱える地域特性（有人離島28、離島人口15万人）があり、広い県土内での医療者の偏在が顕著である。また、全国に先駆けて高齢化が進展し、医療需要が高止まりする中、医療需要に応じた医師偏在対策が重要な課題となっている。

この深刻化する地域の医師不足の現状に対処し、効率的・安定的な医師配置を図るため、鹿児島県は本学や県医師会等の関係者と協力して、地域に必要な医師配置の方向性を示した「地域医療支援方策（平成24年３月）」を定めるとともに、「鹿児島県保健医療計画（令和６年３月）」を策定し、医師の地域的偏在や特定診療科の医師不足を解消するため、関係機関が一体となって総合的な医師確保対策に取り組んでいるところである。さらに、鹿児島県は「鹿児島県医師確保計画（令和６年３月)」を策定し、医師偏在指標に基づく医師確保の方針、確保すべき目標医師数及び目標の達成に向けた施策内容といった一連の方策を定め、取り組んでいるところである。

地域枠医師は、医師不足に悩む市町村や医療機関が着実に医師を確保できる手段として、特に地方から強い要望があり、医師偏在是正を講じる上でも、確実な効果が見込まれる重要な方策の一つである。「医療従事者の需給に関する検討会　医師需給分科会　第４次中間取りまとめ」において、2036年度までに必要医師数を達成するための2020年度以降の鹿児島県の不足養成数が「27人／年」と示されていること等を受けて、鹿児島県からは、令和７年度に引き続き、20名の増員が要望されている。本学の大学憲章に掲げる、「地域社会の発展と活性化に貢献する」とした社会貢献の趣旨からも、地域格差・診療間格差の是正は、県内唯一の医育機関としての使命であり、賛同するところである。また、教育環境にも大きな支障はなく、20名の確保が必要と考えている。なお、これまでも地域枠制度開始以降に、定員割れすることなく、学生を確保できている。

３．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

令和８年度の入学定員を、令和７年度に引き続き 110 名としても、教育課程、教育方法、教員組織等を大きく変えて対処する必要はない。しかしながら、教育の内容は変化する環境や制度に合わせて改変している。

〇これまでに行っている地域医療教育としての取組

【一般入学者に行っている取組】

１）プロフェッショナリズム科目「シャドウイング」

３年次の見学実習「シャドウイング」では、14週間に渡って（１日／週）地域における医師の仕事、診療の理解に加え、生涯学習をする医師のキャリア形成や医療職の役割と連携を理解し、その他の体験学習、コミュニケーションや診療手技等の実習、グループ討議などを実施している。これらの学習の記録・評価にはe-ポートフォリオを用いている。

２）必修臨床実習「離島・地域医療実習」

５～６年生の必修である、臨床実習の「離島・地域医療実習」では、鹿児島県内の離島やへき地に宿泊しながら、実際の診療環境下での診察、検査及び治療を指導者の監督指導の下に行っている（12日間）。この実習では、診療所や病院だけでなく、介護施設や、老健施設、薬局なども訪問し、多職種連携の医療現場を体験する。また、在宅医療専門医療機関での２日間の実習も全員に行っている。この他に、鹿児島市の保健師が、鹿児島市内全域で行っている住民健康教室「お達者クラブ」に参加し、保健師による住民への予防医療教育の現場を体験している。この集会において、全ての学生は住民への予防医療に関する自作の講演を行い、住民生活に密着した予防医療の話題を提供している。また、地域包括ケアに導くための、多職種連携を整理するためのツール、bio-psycho-social model及びmedical micro systemを、英文抄読から、模擬患者への応用までを一貫したグループワークで行っている。

【地域枠医学生・地域枠卒業医師に行っている取組】

鹿児島県との緊密な連携のもと、鹿児島県からの委託事業費の支援を受け、卒前地域枠学生及び地域枠卒業医師に対し、正規のカリキュラム以外に下記の取組を行っている（ 11）～14）は希望者のみ）。

１）地域医療に関する講演会（全員、数回／年：公開講座にもなっている）
２）地域医療実習発表会（全員、１回／年）
３）地域医療研究報告会（全員、１回／年）
４）新入生歓迎懇親会（全員、地域枠卒業医師）
５）知事と新入生との対面（１年生全員）
６）自治医科大学卒業医師との交流会（全員、１回／年）　（将来自治医科大学卒業医師との共同した診療を行う機会が多いために開催）
７）鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会（各地域の地域枠医学生全員、県内を10の地区に分け、３地区／年開催）
８）夏季離島・へき地医療実習（１・２年生全員。夏季休業中５日間。自県自治医大学生も参加）
９）夏季地域医療研究（３年生全員。１課題／人の調査研究を夏季休業中に行う）
10）卒後のキャリアパスに関する個別面談（５・６年生全員、研修医、後期研修医）
11）地域医療教育関連シンポジウム参加（地域医療支援機構などが主催するもの）
12）県外での地域医療実習（新潟大学地域医療実習に参加）
13）学会発表（日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など）
14）各種地域医療関連企画への参加・発表

以上の中で、教育内容を毎年度吟味しながら、学生の教育効果の検証も行いつつ、内容の充実を図っている。これらの充実した医学教育の環境と、地域医療教育で学生を教育している。

４．２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学医学部医学科は、主たるキャンパスは桜ヶ丘キャンパスとなる。ただし、１年次は共通教育科目を受講することとなり、その教育は郡元キャンパスで実施される。

両キャンパス間は、直線距離で約３㎞あり、移動に係る所要が自動車で約15分である。なお、両キャンパス間の交通手段としては、ＪＲ、市電、バスを利用することで容易に移動が可能である。

また、郡元キャンパスで実施する共通教育科目は、開講曜日を限定しており、同一の曜日に桜ヶ丘キャンパスでの講義を設定していないことから、同日にキャンパス間を移動することがなく履修できるように配慮した時間割となっている。

令和８年度
医学部入学定員増員計画

鹿大評第　３　号
令和７年　８月１９日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人鹿児島大学長
井戸　章雄

「地域の医師確保等の観点からの令和８年度医学部入学定員の増加について（令和７年８月５日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	医歯学総合研究科等事務部総務課総務係係長・ 江口　夕佳
	TEL	099-275-6015（内線6015）
	E-mail	isgsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

大学名	国公私立
鹿児島大学	国立

1．現在（令和７年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	710

（収容定員計算用）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
（ア）入学定員	110	110	110	110	110	110	660
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	120	120	120	120	110	710

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和８年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	10	0	590

（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
（ア）入学定員	90	90	90	90	90	90	540
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	90	590
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3．令和８年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	610

（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
（ア）入学定員	110	90	90	90	90	90	560
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	100	100	100	100	90	610
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	20

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	20
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	20

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	20

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	鹿児島県	20
大学所在地以外の都道府県		
計		20

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R6地域枠定員（※1）	R6貸与者数（※2）	R7地域枠定員（※1）	R7貸与者数（※2）	R6とR7の貸与者数のうち多い方の数
鹿児島県	20	20	20	20	20
					0
					0
					0
					0
					0
計	20	20	20	20	20

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和８年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和６年度に実施した**地域枠学生（令和７年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">名称</th><th rowspan="2">入試区分</th><th rowspan="2">選抜方式</th><th colspan="2">募集人数</th><th rowspan="2">選抜方法（※1）</th><th rowspan="2">出願要件（※1）</th><th rowspan="2">診療科の選定の有無</th><th rowspan="2">（診療科の選定が有る場合）その診療科名</th><th rowspan="2">開始年度</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th></th><th>うち臨時定員分</th></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜Ⅱ</td><td>（ｉ）学校推薦型選抜</td><td>別枠（先行型）</td><td>20</td><td>20</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。ただし、面接の評価が著しく低い場合（10点以下）、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがある。
<table><tr><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th></tr><tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr><tr><td>国
地歴
公民
数

理
外
情</td><td>国
地理，日本史，世界史
公倫，公政経
数ⅠA
数ⅡBC
物，化，生から２
英
情Ⅰ
［6教科8科目］</td><td>から1</td><td>その他</td><td>面接</td></tr></table></td><td>次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和７年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの。
なお、過年度の大学入学共通テストの成績については、令和７年度入学者選抜には利用しません。
１　対象となる高等学校の学科に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者
　なお、医学部医学科は、鹿児島県内の高等学校に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者
　ただし、通信制高校（通学コース※の学生は除く）においては、キャンパスの所在が鹿児島県内であり、鹿児島県内に在住のうえ、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者
※通信制高校の通学コースを令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者が出願する場合は、事前に出願要件について問い合わせること。
２　合格した場合は、入学することを確約できる者
３　以下の推薦要件を満たす者
（1）高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡで、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者
（2）入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者
※医師修学資金貸与制度
鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする制度
※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン
鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とするプラン
※鹿児島県キャリア形成プログラム
医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をするプログラム</td><td>無</td><td></td><td>H21以前</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td></td><td>20</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②**令和７年度に実施する**地域枠学生（令和８年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">名称</th><th rowspan="2">入試区分</th><th rowspan="2">選抜方式</th><th colspan="2">募集人数</th><th rowspan="2">選抜方法（※1）</th><th rowspan="2">出願要件（※1）</th><th rowspan="2">診療科の選定の有無</th><th rowspan="2">（診療科の選定が有る場合）その診療科名</th><th rowspan="2">開始年度</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th></th><th>うち臨時定員分</th></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜Ⅱ</td><td>（ｉ）学校推薦型選抜</td><td>別枠（先行型）</td><td>20</td><td>20</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。ただし、面接の評価が著しく低い場合（10点以下）、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがある。
<table><tr><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別テスト等</th></tr><tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr><tr><td>国
地歴
公民
数

理
外
情</td><td>国
地理，日本史，世界史
公倫，公政経
数ⅠA
数ⅡBC
物，化，生から２
英
情Ⅰ
［6教科8科目］</td><td>その他</td><td>面接</td></tr></table>から1</td><td>次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和８年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの。
なお、過年度の大学入学共通テストの成績については、令和８年度入学者選抜には利用しません。
１　対象となる高等学校の学科に在学し、令和８年３月までに卒業見込みの者
　なお、医学部医学科は、鹿児島県内の高等学校に在学し、令和８年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者
　ただし、通信制高校（通学コース※の学生は除く）においては、キャンパスの所在が鹿児島県内であり、鹿児島県内に在住のうえ、令和８年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者
※通信制高校の通学コースを令和８年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者が出願する場合は事前に出願要件について問い合わせること。
２　合格した場合は、入学することを確約できる者
３　以下の推薦要件を満たす者
（1）高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡで、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者
（2）入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者
※医師修学資金貸与制度
鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする制度
※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン
鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とするプラン
※鹿児島県キャリア形成プログラム
医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をするプログラム</td><td>無</td><td></td><td>H21以前</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td></td><td>20</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和８年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

・1・2年次の休み期間に、4～5日間の離島・へき地での地域医療実習を行う。
・3年次夏休み期間に、地域医療研究として、自身でテーマを決めた調査・研究を行う。
・5-6回／年開催の地域医療教育講演会に参加する。
・地域医療のリーダーシップを学ぶ（1・５年次）
・地域医療リーダー育成DX演習（５年次にVR教材を用いた実習を行う）
・「シャドウイング」として、3-4年次全員に、市中病院の見学型実習を実施している。
・5-6年次生全員に対し、臨床実習2週間を含む、計4週間の「離島・地域医療実習」を行う。

（参考：記入例）
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和８年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成18年度より、鹿児島県立病院もしくは鹿児島大学病院での初期臨床研修を行い、その後3年間、離島やへき地での勤務を行う、奨学金貸与地域枠制度を導入（2名／学年：恒久定員内）した。平成21年度より、上記と同様の初期臨床研修、その後7年間の鹿児島市以外での知事指定医療機関で勤務を行う制度を開始した。令和7年度初め時点で、在学生118名、初期臨床研修医28名、地域就労中の医師107名である。就労中の医師に義務勤務を終えた医師28名も含めると計135名が地域での勤務経験を持ち、地域医療に貢献している。

（参考：記入例）
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和７年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年	初期地域医療実習１	全員	必修	選択	実習	1	R5
2年	初期地域医療実習2	全員	必修	選択	実習	1	R5
3年	地域医療研究	全員	必修	選択	実習	0.5	R5
1年	地域医療リーダーシップ1	全員	選択	選択	実習	0.5	R5
5年	地域医療リーダーシップ2	全員	選択	選択	実習	0.5	R5
3年	シャドウイング	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
5-6年	離島・地域医療実習	全員	必修	必修	実習	3	H21以前
5-6年	地域医療リーダー育成DX演習	全員	必修	選択	実習	0.5	R5

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 （※1）	都道府県との連携	期間 （例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1-6年	地域枠卒業医師・医学生勉強会	地域枠学生	地域医療支援センターが企画運営 県の関係者も視聴	9-10回／年	地域枠卒業医師による、自身の専門領域のレクチャーと、自身のキャリア形成紹介。	R3

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和７年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療教育講演会	地域医療の専門家を招聘し、地域医療の様々な分野について学ぶ。	H21以前
新入生歓迎懇親会	地域枠の仲間として、縦と横の繋がりを作る。	H26
知事と新入生との対面	知事の思いを聞き、地域枠としてのモチベーションを高める。	H29
自治医科大学卒業医師との交流会	将来共に働く自治医大出身医師との交流を図る。	H29
鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会	地域の行政、医師会、医師との交流により、将来の地域枠医師として働くモチベーションを高める。	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

２．都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
鹿児島県	20	新入生	約118,333	9,400,000	返還免除要件は、次の(1)から(3)のとおりである。 (1)業務従事期間の満了による場合【全額免除】 次の条件をすべて満たした場合、修学資金の返還債務は全額免除されます。 ①大学卒業後２年以内に医師免許を取得したこと。 ②医師免許の取得後直ちに知事が定める病院が実施する臨床研修に従事したこと。 ③上記②の臨床研修を修了後、貸与期間の２倍に相当する期間内（12年間）に、１年間知事が定める病院で実務研修に従事し、かつ、通算して６年間へき地医療機関等においてその業務に従事したこと。 (2)特定の事由により、業務の継続が困難となった場合【全額免除】 上記(1)の業務に従事している期間中に、業務により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため業務を継続することができなくなった場合は、修学資金の返還債務は全額免除されます。 (3)返還が免除される事由の発生による場合【全額又は一部免除】 修学生が貸与金の返還をすることとなる場合（※１）において、死亡又は心身の著しい障害その他やむを得ない事由により、貸与を受けた修学資金を返還することができなくなったときは、返還債務の全部又は一部に相当する額の免除が認められる場合があります。 （※１）返還債務の全部を免除される場合を除き、次のいずれかに該当するに至ったときは、貸与を受けた修学資金の総額に利息を付した額を当該事由が生じた日の属する月の翌月までに一括して返還する必要があります。 ① 貸与契約の解除事項（※２）に該当し貸与契約を解除されたとき。 ② 上記(1)の①～③に掲げる要件のいずれかを満たすことができなかったとき。 ③ 死亡したとき（貸与契約の解除事項⑤に該当する場合を除く。）。 （※２）貸与契約の解除事項は、大学在籍中に、次のいずれかに該当する場合。 ① 退学したとき。 ② 心身の故障のため修学の見込みがなくなったと認められるとき。 ③ 学業成績が著しく不良となったと認められるとき（留年等により修学の見込みがなくなったと認められるとき。）。 ④ 修学資金の貸与を受けることを辞退したとき（転学部又は転学科のときに限る。）。 ⑤ 死亡したとき。 ⑥ その他修学資金の貸与の目的を達成する見込みがなくなったと認められるとき。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		奨学金の対象者となる入学者選抜を大学が行う。 総貸与額には生活費の他、入学金相当額、授業料相当額及び図書購入費を含む。学年ごとの貸与額の内訳は、以下のとおりである。 学年 / 金額 / 内訳 第１学年 / 1,700,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、入学金相当額 280,000円 第２学年 / 1,420,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円 第３学年 / 1,420,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円 第４学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 第５学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 第６学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 合　計 / 9,400,000円 貸与方法ついては、毎年４回（４、７、10、１月）に分けて、以下のとおり貸与している。 口座振込により、毎年４回（４月，７月，10月，１月）に分けて貸与します。 貸与日 / 貸与額 / （参考）第１学年貸与額 ４月前期授業料納入日の前日 / 入学金相当額（第１学年）＋生活費（３月分）＋授業料相当額（半期分）＋図書購入費（第４～６学年） / 765,000円 ７月末日 / 生活費（３月分） / 225,000円 10月後期授業料納入日の前日 / 生活費（３月分）＋授業料相当額（半期分） / 485,000円 １月末日 / 生活費（３月分） / 225,000円	

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域枠医師向けキャリア形成プログラム冊子発刊	地域枠医師に特化した、キャリア形成プログラムに関する紹介冊子を作製・配布	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3．在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
卒後のキャリアパスに関する個別面談	５・６年生全員、研修医、後期研修医に対して卒後のキャリアパスに関する個別面談を実施している。	H22
地域枠卒業医師・医学生勉強会	地域枠卒業医師が、自身のキャリア形成と、専門分野のトピック紹介（症例、代表的疾患）を講演（ZOOM)し、学生はZOOM上で直接質問できる。年に9-10回程度実施している。	R3
地域枠制度・キャリア形成説明会	毎年7月頃に鹿児島大学病院総合臨床研修センター職員や県の臨床研修プログラム責任者による講演を行っている。	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

４．その他

１～３に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

・地域医療教育関連シンポジウム参加（地域医療支援機構などが主催するもの）
・学会発表（日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など）支援
・進学校への出前授業で地域枠制度を説明する

令和７年度

学　生　募　集　要　項

学校推薦型選抜Ⅱ

法文学部
教育学部
理学部
医学部
歯学部
工学部
農学部
共同獣医学部

入学者選抜実施日程

対象学部	農学部以外	農学部
インターネット出願登録及び入学検定料等支払い手続き期間	令和６年11月15日(金)～11月26日(火)	令和７年１月17日(金)～１月28日(火)
出願期間（出願書類等の提出）	令和６年11月22日(金)～11月26日(火) ※提出は郵送のみ	令和７年１月24日(金)～１月28日(火) ※提出は郵送のみ
選抜実施日	令和６年12月14日(土)	個別学力検査は出願書類のみのため、選抜実施日はありません
合格者発表日	令和７年２月12日(水)	
入学手続期間	令和７年２月12日(水)～２月19日(水)	

やむを得ない事由によって、本要項の記載とは異なる日程、方法等で選抜を実施することがあります。
変更となる場合は決定次第、本学ホームページで公表いたします。

鹿　児　島　大　学

目　　次

頁
インターネット出願について・入試成績開示を希望する方へ …… 1
鹿児島大学憲章 …… 2
教育目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） …… 3
Ⅰ　募集人員、対象となる高等学校の学科等及び推薦人員 …… 9
Ⅱ　出願要件及び推薦要件 …… 10
Ⅲ　入学者選抜方法 …… 12
Ⅳ　入学者選抜の実施教科・科目等について …… 14
Ⅴ　教育学部の実技検査等 …… 25
Ⅵ　採点・評価基準 …… 26
Ⅶ　合否判定基準 …… 29
Ⅷ-ⅰ　出願手続（農学部以外） …… 31
Ⅷ-ⅱ　出願手続（農学部） …… 36
Ⅸ　受験上の注意 …… 40
Ⅹ　合格者発表 …… 41
Ⅺ　入学手続 …… 41
Ⅻ　他の選抜への出願等について …… 42
XIII　個人情報の取扱いについて …… 42
XIV　入試情報開示 …… 43
XV　障害等のある入学志願者の事前相談 …… 44
XVI　学生寮、入学料免除・授業料免除、入学料徴収猶予及び奨学金等 …… 45

医学部

教育目標

医学部は、全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　思いやりのある人
⑵　幅広い基礎知識を有する人
⑶　人の生命や社会に深い関心をもつ人
⑷　探究心があり、物事に積極的に取り組む人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　基礎的な学力
⑵　コミュニケーション能力
⑶　医療への関心
⑷　人を思いやる心
⑸　物事に対する責任感
⑹　探究心
⑺　論理的な思考力

３　入学者選抜の基本方針

医学科は大学入学共通テストおよび面接により、基礎学力ならびに適性を判定します。

※　医学科のアドミッション・ポリシーについては、以下の医学部ホームページを参照してください。
https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~med/education-of-medicine/three-policy.html#p01

歯学部

教育目標

歯学部は「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに、下記の教育目標を達成します。

⑴　全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
⑵　地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
⑶　国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　生命への強い関心、人間としてのモラル、奉仕精神にあふれる人
⑵　歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人
⑶　歯科医療に情報科学技術を活用するための基礎的素養を備える人
⑷　歯科医学に興味を持ち、科学的探究心の豊かな人
⑸　幅広い視野と柔軟な感性を持ち、常に考え行動する資質のある人
⑹　歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

さらに、学校推薦型選抜Ⅱによる入学者として、歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ人を望んでいます。

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、数学、理科、地歴、公民、英語、情報などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、

Ⅰ　募集人員、対象となる高等学校の学科等及び推薦人員

学　部	学　科　等			募集人員	対象となる高等学校の学科等	高等学校からの推　薦　人　員
法文学部	法経社会学科	法学コース		9人	全学科	各校から２人以内
		地域社会コース・経済コース		30人	全学科	各校から２人以内
	人文学科	多元地域文化コース		20人	全学科	各校から２人以内
		心理学コース		８人	全学科	各校から２人以内
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	15人	全学科	各校から２人以内
			音楽	５人	全学科	各校から２人以内
			保健体育	９人	全学科	各校から３人以内
		中等教育コース	国語	３人	全学科	各校から２人以内
			社会	２人	全学科	各校から２人以内
			英語	２人	全学科	各校から２人以内
			数学	２人	全学科	各校から２人以内
			理科	３人	全学科	各校から２人以内
理 学 部	理学科	数理情報科学プログラム		10人	全学科	各校から５人以内
		物理・宇宙プログラム		11人	全学科	各校から５人以内
		化学プログラム		９人	全学科	各校から５人以内
		生物学プログラム		９人	全学科	各校から５人以内
		地球科学プログラム		８人	全学科	各校から５人以内
医 学 部	医学科			20人※1	全学科	各校から５人以内
歯 学 部	歯学科			８人	全学科	各校から３人以内
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム		10人	全学科	各校から３人以内
		電気電子工学プログラム		10人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から３人以内
		海洋土木工学プログラム		２人	高等学校設置基準第５条第２号に規定する「専門教育を主とする学科」のうち職業教育を主とする学科及び同条第３号に規定する総合学科※2	各校とも各科から２人以内
				10人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から３人以内
		化学工学プログラム		６人	全学科	各校から３人以内
		化学生命工学プログラム		９人	全学科	各校から３人以内
		情報･生体工学プログラム		４人	高等学校設置基準第５条第２号に規定する「専門教育を主とする学科」のうち職業教育を主とする学科及び同条第３号に規定する総合学科※2	各校から２人以内
				15人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から３人以内
	建築学科	建築学プログラム		ア　４人※3	全学科	各校から３人以内
				イ　４人※3	全学科	各校から３人以内
				ウ　３人※3	全学科	各校から３人以内
農 学 部	農学科			30人	全学科	人数制限なし
共同獣医学部	共同獣医学科			２人	全学科	各校から２人以内

(注)　学校推薦型選抜Ⅱと総合型選抜（自己推薦型選抜）の併願はできません。
(注)　学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科を除く）の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。ただし、教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽及び保健体育の欠員は、一般選抜（前期日程）の初等教育コース一般の募集人員に加えます。
※１　医学部医学科においては、地域枠に係る臨時定員増を申請中（20人）であり、現時点において確定した人数ではありません。今後、確定した募集人員について、申請中の人数から変更がある場合は、本学ホームページ等において公表します。
※２　総合学科については、履修科目を確認のうえ、判断しますので、事前に学生部入試課へ問い合わせてください。
※３　ア：文系科目重視型、イ：理系科目重視型、ウ：実技試験型

Ⅱ　出願要件及び推薦要件

次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和７年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目（15～20頁参照）を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの。

なお、過年度の大学入学共通テストの成績については、令和７年度入学者選抜には利用しません。

１　対象となる高等学校の学科に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者

なお、次の学部・学科等にあっては、以下に定めるとおりとします。

(1) 理学部理学科及び歯学部歯学科は、対象となる高等学校の学科に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は令和６年３月に卒業した者

(2) 医学部医学科は、鹿児島県内の高等学校に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者

ただし、通信制高校（通学コース※の学生は除く）においては、キャンパスの所在が鹿児島県内であり、鹿児島県内に在住のうえ、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者

※通信制高校の通学コースを令和７年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者が出願する場合は、事前に出願要件について問い合わせること。

(3) 農学部農学科は、対象となる高等学校の学科に在学し、令和７年３月までに卒業見込みの者、又は令和４年３月以降に卒業した者

２　**合格した場合は、入学することを確約できる者**

３　次に掲げる学部・学科等にあっては、以下の推薦要件を満たす者

学部	学科等			推薦要件
法文学部	法経社会学科	地域社会コース・経済コース		高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡである者
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者
			音楽	(1) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上である者 (2) 音楽への興味・関心が高く、勉学意欲があり、更に教員を強く志望する者 (3) 発表会やコンクールへの参加歴等（部活動や一般団体での活動を含む）、音楽実技活動の実績がある者
			保健体育	高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上で、教員になる意欲と熱意がある者
		中等教育コース	国語	高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡで、教員になる意欲と熱意がある者
			社会	高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者
			英語	高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者
			数学	(1) 数学Ⅲ（理数科は理数数学Ⅱ）を履修している者 (2) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、数学への興味・関心が高く、教員を強く志望する者
			理科	高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者
理学部	理学科	数理情報科学プログラム		数学及び情報科学への興味・関心が高い者
		物理・宇宙プログラム		物理学及び天文学への興味・関心が高い者
		化学プログラム		化学への興味・関心が高い者
		生物学プログラム		生物学への興味・関心が高い者
		地球科学プログラム		地学への興味・関心が高い者

（次頁へつづく）

（前頁からつづく）

学部	学　科　等	推　　薦　　要　　件
医学部	医学科	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡで、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 (2) 入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする制度 ※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン 鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とするプラン ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をするプログラム
歯学部	歯学科	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡである者 (2) 歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者
共同獣医学部	共同獣医学科	獣医師になる強い意欲と情熱があり、入学後に「鹿児島県獣医師確保対策修学資金 (県事業)」あるいは「鹿児島県獣医師養成確保修学資金 (国事業)」の貸与を受け、大学卒業後は鹿児島県の獣医師職員あるいは鹿児島県内の農業共済組合に獣医師としての勤務を希望する者 【(参考) 在学生に対する修学資金について】 ※（鹿児島県）獣医師確保対策修学資金 https://www.pref.kagoshima.jp/ag07/documents/r06_juisikakuhosyuugakusikin.html ※（鹿児島県農業共済組合）鹿児島県ＮＯＳＡＩ獣医師修学資金 注意点：鹿児島県ＮＯＳＡＩ獣医師修学資金は、予算の関係で修学生の採用人数に限度があり、修学生とならないこともありますが、修学生にならなかったことにより翌年度以降の申請資格がなくなることはありませんので再度申請できます。

Ⅲ　入学者選抜方法

1　選抜方法

<table>
<tr><th>学部</th><th colspan="3">学科等</th><th>選抜方法</th></tr>
<tr><td rowspan="4">法文学部</td><td rowspan="2">法経社会学科</td><td colspan="2">法学コース</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書、高等学校長の推薦書及び自己推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域社会コース・
経済コース</td><td>大学入学共通テスト及び小論文の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人文学科</td><td colspan="2">多元地域文化コース</td><td>大学入学共通テスト、小論文及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">心理学コース</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教育学部</td><td rowspan="4">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="3">初等教育コース</td><td>一般</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>大学入学共通テスト、実技検査、面接及び調査書（音楽実技活動の実績調書を含む。）の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>保健体育</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書（実技調書を含む。）の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">中等教育コース
国語、社会、英語、
数学、理科</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>理　学　部</td><td colspan="3">理学科（全プログラム）</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>医　学　部</td><td colspan="3">医学科</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>歯　学　部</td><td colspan="3">歯学科</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="12">工　学　部</td><td rowspan="9">先進工学科</td><td colspan="2">機械工学プログラム</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気電子工学プログラム</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋土木工学
プログラム</td><td>専門教育を主とする学科等</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>普通科等</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">化学工学プログラム</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">化学生命工学プログラム</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">情報・生体工学
プログラム</td><td>専門教育を主とする学科等</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>普通科等</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">建築学科</td><td rowspan="3">建築学
プログラム</td><td>（ア）文系科目重視型</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>（イ）理系科目重視型</td><td>大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>（ウ）実技試験型</td><td>大学入学共通テスト、空間構成及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>農　学　部</td><td colspan="3">農学科</td><td>大学入学共通テスト、調査書及び志望理由書の成績の総合得点に基づいて選抜します。
高等学校の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
<tr><td>共同獣医学部</td><td colspan="3">共同獣医学科</td><td>大学入学共通テスト、小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。</td></tr>
</table>

２　小論文・面接の実施日等

実施日　令和６年12月14日（土）

場　所　志願する学部の検査場

※検査場案内図等の詳細は、受験票印刷時に「受験案内」（34頁５参照）で確認してください。

３　小論文等の時間割

学部・学科等 ＼ 時刻		9：00　10：00　11：00　12：00　13：00　14：00　15：00　16：00
法文学部 法経社会学科 法学コース	8:30 集合	面接　9:00～
地域社会コース・ 経済コース	8:30 集合	小論文 9:00～10:30
人文学科 多元地域文化コース	8:30 集合	小論文 9:00～11:00
心理学コース	12:30 集合	面接　13:00～
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 一般	8:40 集合	面接　9:00～
音楽	8:40 集合	実技検査　9:00～　面接（実技検査終了後）
保健体育	8:40 集合	面接　9:00～
中等教育コース 国語、社会、英語、 数学、理科	12:30 集合	面接　13:00～
理学部 理学科 数理情報科学プログラム 物理・宇宙プログラム 化学プログラム 生物学プログラム 地球科学プログラム	8:40 集合	面接　9:00～
医学部 医学科	8:30 集合	面接　9:00～
歯学部 歯学科	8:30 集合	面接※　9:00～
工学部 先進工学科 機械工学プログラム 電気電子工学プログラム 海洋土木工学プログラム 化学工学プログラム 化学生命工学プログラム 情報･生体工学プログラム	8:40 集合	面接　9:00～
建築学科 建築学プログラム ア　文系科目重視型 イ　理系科目重視型	12:40 集合	面接　13:00～
ウ　実技試験型	8:40 集合	空間構成 9:00～11:00
農学部 農学科	個別学力検査等は出願書類のみのため、来学の必要はありません。	
共同獣医学部 共同獣医学科	8:40 集合	小論文 9:00～11:00　　面接　13:00～

※　歯学部歯学科では、受験者に面接用資料を作成させ（作文、40分）、それらに基づき面接を行います。

Ⅳ　入学者選抜の実施教科・科目等について

志望する学部・学科等が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目に対し、実際に受験した教科・科目が不足している場合や相違がある場合、又は第１解答科目の選択に誤りがある場合は、「出願無資格者」として取り扱いますので注意してください。

教科・科目名の表記について

1　大学入学共通テストの利用教科・科目名は、次のように略しています。
（本学が実施する個別学力検査等の出題教科・科目名についても同様に略しています。）

○　国語→国
『国語』→「国」

○　地理歴史→地歴
『地理総合、地理探究』→「地理」、『歴史総合、日本史探究』→「日本史」、
『歴史総合、世界史探究』→「世界史」、『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」

○　公民
『公共、倫理』→「公倫」、『公共、政治・経済』→「公政経」、
（再掲）『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」

○　数学→数
『数学Ⅰ、数学Ａ』→「数ⅠＡ」、『数学Ⅰ』→「数Ⅰ」、
『数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ』→「数ⅡＢＣ」

○　理科→理
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→「理科基礎」、
『物理』→「物」、『化学』→「化」、『生物』→「生」

○　外国語→外
『英語』→「英」、『ドイツ語』→「独」、『フランス語』→「仏」、『中国語』→「中」、
『韓国語』→「韓」

○　情報→情
『情報Ⅰ』→「情Ⅰ」

（注）大学入学共通テストの出題科目の表記については、文部科学省通知のとおりとしています。

2　大学入学共通テストの利用方法については、次の例のように利用教科・科目名、利用方法を示しています。

［例］

地理、日本史、世界史から１科目を選択　→　地理、日本史、世界史から１

地歴又は公民から１科目選択　→　地理、日本史、世界史、地歴公
公倫、公政経　｝から１

理科から２科目を選択　→　理科基礎、物、化、生、地学から２

※学部・学科等により選択解答の方法が異なるため、注意書きを十分確認してください。

理学部

（注）大学入学共通テストの「地歴」,「公民」及び「理」において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答してください。

学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
理学科	数理情報科学プログラム	国 地歴 公民 数 理 外	国 地理、日本史、世界史、地歴公 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 物、化、生、地学から２ 英、独、仏、中、韓から１ ［５教科７科目］	その他	面接	共通テスト	150	50	400	200	200						1000
						個別学力検査									200		200
						計	150	50	400	200	200				200		1200
	物理・宇宙プログラム 化学プログラム 生物学プログラム 地球科学プログラム			その他	面接	共通テスト	150	50	300	300	200						1000
						個別学力検査									200		200
						計	150	50	300	300	200				200		1200

医学部

（注）大学入学共通テストの「地歴」,「公民」及び「理」において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答してください。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
医学科	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 地理、日本史、世界史 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 物、化、生から２ 英 情Ⅰ ［６教科８科目］	その他	面接	共通テスト	200	100	200	200	200	25					925
					個別学力検査									80		80
					計	200	100	200	200	200	25			80		1005

歯学部

（注）大学入学共通テストの「地歴」,「公民」及び「理」において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答してください。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
歯学科	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 地理、日本史、世界史、地歴公 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 物、化、生から２ 英 情Ⅰ ［６教科８科目］	その他	面接	共通テスト	200	100	200	200	200	30					930
					個別学力検査									200		200
					計	200	100	200	200	200	30			200		1130

2　大学入学共通テストにおける外国語の配点について

⑴　『英語』を受験した者については、試験の成績（リーディング100点、リスニング100点、合計200点満点）に対する配点比率を下表のとおり換算したうえで、さらに各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

ただし、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績（100点満点）を200点満点に換算したうえで、さらに各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

⑵　『英語』以外の科目を受験した者については、試験の成績（200点満点）を各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

学　部	学　科　・　課　程　等			リーディング	リスニング	計
法文学部	法経社会学科		法学コース	120	30	150
			地域社会コース・経済コース			
	人文学科		多元地域文化コース			
			心理学コース			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	160	40	200
			音楽			
			保健体育			
		中等教育コース	国語	160	40	200
			社会			
			英語	240	60	300
			数学	80	20	100
			理科			
理学部	理学科	数理情報科学プログラム		160	40	200
		物理・宇宙プログラム				
		化学プログラム				
		生物学プログラム				
		地球科学プログラム				
医学部	医学科			150	50	200
歯学部	歯学科			160	40	200
工学部	先進工学科	機械工学プログラム		80	20	100
		電気電子工学プログラム		160	40	200
		化学生命工学プログラム				
		情報･生体工学プログラム※		80	20	100
	建築学科	建築学プログラム	ア 文系科目重視型	160	40	200
			イ 理系科目重視型			
			ウ 実技試験型	80	20	100
農学部	農学科			240	60	300
共同獣医学部	共同獣医学科			240	60	300

※　工学部先進工学科情報･生体工学プログラムにおいて外国語を課すのは、「専門教育を主とする学科及び総合学科」のみです。

外部英語検定試験スコアによるみなし満点（又は加点）制度の利用について

下表「外部英語検定試験一覧」にある「スコア基準」欄のスコアを取得している者は、外部英語検定試験スコアによるみなし満点（又は加点）制度の利用ができます。本制度の利用対象は、一般選抜（前期日程・後期日程）及び学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜（自己推薦型選抜）の大学入学共通テスト「外国語」を課す学部・学科等とし、大学入学共通テスト「外国語」を**英語**で受験した者に限ります。

〈外部英語検定試験一覧〉

外部英語検定試験名	スコア基準
Cambridge English（ケンブリッジ英検）	FCE 以上
実用英語技能検定	準１級合格以上（英検 CBT、S-CBT も含む）
GTEC（旧 GTEC CBT）	1250点以上（CBT タイプ（４技能）に限る）
IELTS	5.5以上（Overall Band Score）
TEAP	334点以上
TOEFL iBT	72点以上
TOEIC L&R ／ TOEIC S&W	1095点以上(L&R785点以上かつS&W310点以上)

※　対象となるスコアは 2022 年度～ 2024 年度実施分とし、出願時までに取得したものに限ります。

上表のスコアを取得している者は、出願時に必要情報の登録や成績証明書等の提出を行うことで、大学入学共通テスト「外国語」の「英語リーディング」及び「英語リスニング」の得点について、以下のように取り扱うこととします。

「英語リーディング」の得点率	大学入学共通テスト「英語リーディング」の得点
80％以上	得点を満点とみなす（みなし満点制度）
80％未満	得点の 25％を加点する（加点制度）

「英語リスニング」の得点率	大学入学共通テスト「英語リスニング」の得点
80％以上	得点を満点とみなす（みなし満点制度）
80％未満	得点の 25％を加点する（加点制度）

以下に具体的な計算例を示します。

	実 際 の 得 点	→	みなし満点（又は加点）制度適用後の得点
例１	英語リーディング　82 点 英語リスニング　　90 点	→	英語リーディング　100 点 英語リスニング　　100 点
例２	英語リーディング　82 点 英語リスニング　　70 点	→	英語リーディング　100 点 英語リスニング　　87.5 点 ※ 70 点＋（70 点× 0.25）＝ 87.5 点
例３	英語リーディング　72 点 英語リスニング　　90 点	→	英語リーディング　90 点 ※ 72 点＋（72 点× 0.25）＝ 90 点 英語リスニング　　100 点
例４	英語リーディング　72 点 英語リスニング　　70 点	→	英語リーディング　90 点 ※ 72 点＋（72 点× 0.25）＝ 90 点 英語リスニング　　87.5 点 ※ 70 点＋（70 点× 0.25）＝ 87.5 点

※　みなし満点（又は加点）制度適用後の得点については、各選抜区分において各学部･学科等が定める「英語リーディング」及び「英語リスニング」の配点に基づいた換算を行います。

Ⅵ　採点・評価基準

1　小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

(1)　法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース

社会の諸事象に関する文章などを読ませ、社会的な問題に対する関心や思考力、文章などの読解力ならびに論理的な説明能力をみます。

(2)　法文学部人文学科多元地域文化コース

出題の内容について、発想の柔軟さ、適切な論理の展開と表現能力を問います。

(3)　共同獣医学部共同獣医学科

提示された資料、課題に対する理解力、分析力、論理的思考力及び文章表現力等を評価･採点します。なお、資料は英文で提示することがあります。

2　実技検査

次の学部・学科等で実技検査を課します。

(1)　教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽

ピアノ、声楽、ソルフェージュ、その他の楽器（希望者のみ）を課し、音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみます。

(2)　工学部建築学科建築学プログラム（ウ　実技試験型）

空間構成（与えられた材料により空間を構成する造形物を制作し、それに関する描画を行う試験）を課し、空間や立体などの構成に関する分析力、理解力、表現力を問います。

3　面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学　部	学科・課程等			面　接　の　形　態			面接時間	評　価　事　項
				個人面接	集団面接	面接員数		
法文学部	法経社会学科		法学コース	○		2～3人	15分	学習意欲、社会の諸問題に対する関心の高さ、基礎的な表現力をみます。
	人文学科		心理学コース		○※1	2～3	15	人の心と行動に対する関心の高さ、勉学意欲、コミュニケーション能力などをみます。
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	○		3	15	教員志望への熱意、初等教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
			音楽	○		2～5	15	教員志望への熱意、音楽の教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
			保健体育	○		2～3	15	教員志望への熱意、体育の教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
		中等教育コース	国語	○		3～6	10	国語の基礎的内容の理解、国語への興味・関心、勉学意欲の程度、教員志望への熱意をみます。
			社会	○		3～8	20	地理歴史及び公民の基礎的内容の理解、社会科への興味･関心、勉学意欲及び教員志望への熱意などをみます。
			英語	○		2～5	15	英語の基礎力、関心、勉学意欲の程度、教員志望への熱意を評価します（英語による質疑応答を含みます）。
			数学	○		2～5	20	数学Ⅲの基本的内容の理解の確認、数学への興味・関心の程度、数学を題材とした書物の読書体験、教員志望の熱意などをみます。
			理科	○		3～8	15	理科に関する基礎的理解や学力の確認、教員志望の意欲や熱意などをみます。
理　学　部	理学科（全プログラム）			○		3	15	志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて評価します。
医　学　部	医学科			○		3～5	20	鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者について、医療人としての適性及び能力をみます。
歯　学　部	歯学科			○※2		3	20	歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者について、歯科医療人としての適性及び能力をみます。

（次頁へつづく）

Ⅶ　合否判定基準

1　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。

なお、本学が課す大学入学共通テスト及び個別学力検査等のうち、１つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。

2　１に加えて、教育学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部・共同獣医学部においては、合否判定を次表のとおり行います。

なお、次表における「大学入学共通テストの合計得点」とは、各学部・学科等が定める配点に換算した後の得点（外部英語検定試験スコアによる希望者優遇制度を利用する場合は、同制度適用後の得点）を指します。

学部	学科等			合否判定基準
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 55％を目安とする教育学部が定める基準に満たない場合、又は面接の評価が著しく低い場合（配点の 25% 以下）、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
		初等教育コース	音楽	面接の評価が著しく低い場合（75 点以下）、総合得点にかかわらず、不合格とすることがあります。
		中等教育コース	国語、社会、英語、数学、理科	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 55％を目安とする教育学部が定める基準に満たない場合、又は面接の評価が著しく低い場合（配点の 25% 以下）、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
理 学 部	理学科（全プログラム）			大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％を目安とする理学部が定める基準に満たない場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
医 学 部	医学科			面接の評価が著しく低い場合（10 点以下）、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
歯 学 部	歯学科			大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 70％未満の場合、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。 また、面接の得点が配点の 50％未満の場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
		電気電子工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
		海洋土木工学プログラム	専門教育を主とする学科等	大学入学共通テストの数学と理科の合計、面接、調査書の３つの評価項目のうち、いずれか１つでも配点の 40％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とします。
			普通科等	大学入学共通テストの数学と理科の合計、面接、調査書の３つの評価項目のうち、いずれか１つでも配点の 40％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とします。
		化学工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％を目安とする工学部が定める基準に満たない場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
		化学生命工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
		情報・生体工学プログラム	専門教育を主とする学科等	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
			普通科等	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50％未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。

（次頁へつづく）

Ⅷ－ｉ　出願手続（農学部以外）

インターネットを利用した出願手続を行います。鹿児島大学のインターネット出願登録サイトへアクセスし、本学生募集要項の内容を参照しながら出願手続を行ってください。

【鹿児島大学インターネット出願登録サイト】
https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html

なお、出願手続を完了するためには以下の①～③の手続きを全て行う必要があります。

①出願情報の登録	②入学検定料等の支払い	③出願書類等の作成・提出

インターネットでの出願登録や入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続完了となりません。
必ず出願期間内に鹿児島大学で受理されるように出願書類を提出してください。
※出願期間内に出願書類の提出がない場合は、出願未完了（登録データ無効）となりますので、注意してください。

1　インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い

出願登録及び支払い手続期間　令和６年11月15日（金）９時 ～ 11月26日（火）17時

注）「２　出願期間」に示す期間内に出願書類が鹿児島大学で受理される必要がありますので、それに間に合うように登録・支払いを済ませてください。

⑴　インターネットによる出願情報の登録

①　事前準備が必要となる主な事項

・電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。登録された電子メールアドレスは、出願情報登録完了等の確認メールの送信に利用するほか、セキュリティコードの再通知の際にも必要になります。

・Ａ４サイズの普通紙が印刷できるプリンタ

出願確認票や受験票の印刷に利用します。自宅にない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用してください。

・証明写真（顔写真）データ

上半身・脱帽・正面向きかつ無背景で出願期間から６ヶ月以内にスマートフォンやデジタルカメラ等を用いて撮影したカラー写真で、データ容量が100KB以上5MB以下のjpg又はpngデータが必要です。

②　インターネット出願登録サイトからの出願登録

パソコン又はスマートフォンから上記URLにアクセスし、注意事項等を確認のうえ、出願情報（選抜区分、志望学部・学科等、氏名、連絡先等）の登録を行ってください。

なお、受験番号及びセキュリティコードについては、翌年度５月に行われる入試成績開示において必要となりますので、大切に保管してください。

(2)　インターネット出願登録サイトでの入学検定料等の支払い方法

事項	摘　　要
入　学　検　定　料 及　び 成績開示請求手数料 （希望者のみ）	1．入学検定料　　17,000円 成績開示請求手数料　　１選抜ごとに500円（希望者のみ） ※上記のほかに、1回の出願登録につき別途サービス利用料が志願者負担として必要です。 2．支払い方法 コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easy での支払い）、ネットバンキング、クレジットカードでの支払いが可能です。 3．入学検定料等の返還について 既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （ア）入学検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 （イ）入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 返還請求の方法については、本学ホームページ（https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/henkan.html）に掲載していますので、ご確認ください。 （返還請求期限：令和６年12月31日(火)消印又はメール受信有効） なお、返還にかかる振込手数料は志願者の負担となり、実際の返還額は振込手数料を差し引いた金額となります。 また、入学検定料等の払込時のサービス利用料は返還対象外となります。

(3)　インターネット出願登録サイトからアップロード作業が必要なもの（郵送不要）

事項	摘　　要
証明写真(顔写真)データ ※白黒(モノクロ)不可	インターネット出願登録及び入学検定料等の支払い後、登録完了メールに記載されているURL から、インターネット出願登録サイトへ再度ログインし、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。

2　出願期間

令和６年11月22日（金）～11月26日（火）17時必着　　**※提出は郵送のみ**

※「３　出願書類等」の種類によっては準備に時間を要する場合がありますので、事前に十分確認してください。なお、上記期間より前に到着したものについては、出願期間初日に出願受付を行います。

3　出願書類等

(1)　インターネット出願登録サイトから印刷する出願書類等

番号	出願書類等	摘　　要
1	出　願　確　認　票	**この出願確認票は大学へ郵送する書類です。** 出願内容等に間違いがないか確認し、入学検定料等の支払い後にＡ４用紙にカラー印刷したものを提出してください。 **（注）入学検定料等の支払い完了後は、出願確認票の変更ができなくなります。入学検定料等の支払い後に登録内容のうち、氏名やフリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、高等学校名・学科名、大学入学共通テストの成績請求番号、外部英語検定試験の利用有無の修正を行う場合は、出願確認票の修正部分に２重線を引き、その上に訂正印を押して余白に正しい内容を朱書きしてください。** **それ以外の内容（選抜区分、志望学部・学科等、個別学力検査の選択科目）の修正がある場合は、出願登録を再度やり直し、誤った出願登録については、出願書類等を郵送せず、上記返還請求を行ってください。**
	大　学　入　学 共　通　テ　ス　ト 成　績　請　求　票	**出願時に提出する必要はありません。** 大学入学共通テストの受験票及び成績請求票が届き次第速やかにインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」から大学入学共通テスト成績請求番号を登録したうえで、再度印刷した出願確認票の「令和７年度共通テスト成績請求票貼り付け欄」に、**推薦** **国公立推薦型選抜用**の成績請求票をはがれないように糊付けし、**検査当日に必ず持参してください。**また、共通テスト受験票又は成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票を糊付けしてください。 **（注）成績請求票が未着などの理由により、検査当日に持参できない場合でも受験は可能ですが、後日提出する必要がありますので、検査当日に受験する検査場本部へ申し出て提出方法を必ず確認してください。**

（次頁へつづく）

（前頁からつづく）

番号	出願書類等	摘　　要
ー	宛名ラベル	出願書類等郵送用として、市販の角形２号封筒（240mm ×332mm）を各自で事前に準備してください。 宛名ラベルをＡ４用紙にカラー印刷し、準備した封筒の表側に貼り付けてください。

出願確認票及び宛名ラベルは、「１　インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い」がすべて完了するまでは印刷できません。

⑵　出願者が準備する出願書類等

番号	出願書類等	摘　　要	対象学部
2	調査書等 （厳封したもの）	文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成した調査書を提出してください。（原則としてＡ４両面印刷） **（注１）調査書等は令和６年４月以降に発行し、厳封されたものを提出してください。** **（注２）出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合及び廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、「卒業証明書」に加え、「成績証明書」又は「単位修得証明書」を提出してください。** **ただし、「成績証明書」又は「単位修得証明書」が提出できない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を代わりに提出してください。**	全学部
3	高等学校長の推薦書 （ダウンロード印刷）	本学所定の様式をダウンロードのうえ、高等学校長が作成し、押印のうえ厳封したものを提出してください。（Ａ４両面印刷） **（注）記載責任者は、担任教諭としてください。**	
4	自己推薦書 （ダウンロード印刷）	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者本人が作成したものを提出してください。（Ａ４印刷）	法文学部 法経社会学科 法学コース
5	実技関係調書等 （ダウンロード印刷）	本学所定の様式をダウンロードのうえ、学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の志願者は、下記の書類を提出してください。 **①音楽実技活動の実績調書** 高等学校長が作成し、押印のうえ厳封したものを提出してください。なお、実績調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状又は各種検定グレード証明書等の写し等を添付してください。（Ａ４印刷） **②実技検査受験種目届** 志願者本人が記入し提出してください。（Ａ４印刷） **③楽譜** 声楽、その他の楽器、について必ず提出してください。 ※声楽　楽譜の右上に受験番号（６桁）及び志願者氏名を記入してください。 ※その他の楽器　楽譜の右上に受験番号（６桁）、志願者氏名及び楽器名を記入してください。	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽
		本学所定の様式をダウンロードのうえ、学校教育教員養成課程初等教育コース保健体育の志願者は、下記の書類を提出してください。 **①実技調書** 高等学校長が作成し、押印のうえ厳封したものを提出してください。なお、実技調書に記載した入賞歴を証明する資料の写し等を添付してください。（Ａ４印刷）	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 保健体育
6	誓約書 （ダウンロード印刷）	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者本人及び親権者（後見人）が自筆で記入したものを提出してください。（Ａ４印刷）	医学部医学科
7	確約・確認書 （ダウンロード印刷）	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者本人及び保証人等が自筆で記入したものを提出してください。（Ａ４印刷）	共同獣医学部 共同獣医学科

（次頁へつづく）

（前頁からつづく）

<table>
<tr><th>番号</th><th>出願書類等</th><th>摘　　要</th><th>対象学部</th></tr>
<tr><td>8</td><td>（希望者優遇制度）
外部英語検定試験の成績証明書等の写し
［2022～2024年度実施分］</td><td>
23頁に記載された外部英語検定試験のスコア基準を満たす者で、大学入学共通テスト「外国語」の得点にかかる優遇制度の利用を希望する者は、インターネット出願登録サイトからの出願登録時に外部英語検定試験の利用有無を「利用する」と選択（注1）し、必要項目を登録したうえで、選択した検定試験の成績証明書等の写しを提出してください（注2）。（次表参照）
<table>
<tr><th>検定試験名</th><th>出願登録項目</th><th>提出する成績証明書等</th></tr>
<tr><td>Cambridge English
（ケンブリッジ英検）</td><td>Verification Number
（８桁）</td><td>合格証明書（認定証）</td></tr>
<tr><td>実用英語技能検定
（英検CBT、S-CBTも含む）</td><td>個人番号（7桁）
受験年度
受験回</td><td>合格証明書
（デジタル証明書の写しも可）</td></tr>
<tr><td>GTEC
（CBTタイプ（４技能）に限る）</td><td>Test ID
（「GT」から始まる9桁）</td><td>Official Score Certificate</td></tr>
<tr><td>IELTS</td><td>Test Report Form Number（18桁）</td><td>Test Report Form</td></tr>
<tr><td>TEAP</td><td>Registration ID
（ハイフンなし11桁）</td><td>スコアレポート</td></tr>
<tr><td>TOEFL iBT（注3）</td><td></td><td>Test Taker Score Report</td></tr>
<tr><td>TOEIC L&R／S&W（注4）</td><td></td><td>(Digital) Official Score Certificate</td></tr>
</table>
（注１）出願登録時に外部英語検定試験の利用有無を「利用しない」と選択した場合、出願書類として成績証明書等が提出されていても優遇制度は適用されませんので、ご注意ください。
（注２）誤って原本を提出された場合でも、成績証明書等は返却しませんので、ご了承ください。
（注３）TOEFL iBTについては、出願書類提出までにETSのサイトからMy TOEFL Homeにログインし、鹿児島大学のDIコード（Institution Code）【0479】を入力のうえ、公式スコアデータのオンライン提出手続きを必ず行ってください。
（注４）TOEIC L&R／S&Wについては、日本国内で受験した場合は、出願書類提出までにTOEIC申込サイトにログインし、鹿児島大学の申請コード【00010001】を入力のうえ、公開テストスコアデータのオンライン提出手続きを必ず行ってください。日本国外で受験した場合は、スコアデータのオンライン提出を利用できませんので、成績証明書類の写しに「国外受験」と書き添えて提出してください。
</td><td>全学部</td></tr>
</table>

４　出願書類の提出方法

入学志願者は、「３　出願書類等」を番号順に取り揃え、市販の角形２号封筒（240mm ×332mm）に入れてください。さらに、その封筒の表側にインターネット出願登録サイトから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。

提出は、一般書留・速達郵便に限ります。持参による提出は原則できませんので、郵便事情を考慮して早めに発送してください。ただし、出願期間より前に到着したものについては、学生部入試課で保管のうえ、出願期間初日に出願受付を行います。

日本国外から提出する場合は、上記宛名ラベルを貼り付けた封筒を国際スピード郵便（EMS）、国際宅配便（FedEx、DHL 等）のいずれかの専用封筒に封入して発送してください。

５　受験票の印刷通知及び受験案内等

令和６年12月６日（金）12時以降、インターネット出願登録サイトにログインすることで受験票を印刷することが可能です。受験票をＡ４用紙（縦向き）にカラー印刷し、検査当日に持参してください。

また、上記日時頃に出願手続の際に登録した電子メールアドレスへ「受験票印刷可能通知」を送信します。この通知には、検査場の案内や検査時間、受験上の注意事項等を記載した「受験案内」に関するお知らせも含まれていますので、必ず確認してください。

6　出願手続に関する留意事項

⑴　出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受理できませんので、十分点検して提出してください。
⑵　改姓名等により現在の氏名が出願書類の氏名と異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行する証明書類を添付してください。
⑶　出願書類の返却はできません。ただし、出願書類に不備があり、出願手続を完了できなかった場合に限っては返却します。
⑷　出願手続完了後に志望学部・学科等を変更することはできません。
⑸　受験票は、受験後も入学手続が完了するまで大切に保管してください。
⑹　出願手続その他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

【出願書類提出等の問い合わせ先】　鹿児島大学学生部入試課入試係（連絡先等は裏表紙参照）
※日本国外から提出する場合は、以下の宛先へ発送してください。
Kagoshima University Admissions Division
1-21-24 Korimoto, Kagoshima, 890-8580, JAPAN
+81-99-285-7355

令和８年度

入学者選抜要項

目　　次

大学憲章 …… 1
教育目標、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）…… 2
入学者選抜の概要 …… 3
入学者選抜実施日程 …… 5
募集人員 …… 7
出願資格 …… 9
入学者選抜方法等 …… 10
◦第２志望・第３志望について …… 15
◦括り枠について …… 16
◦２段階選抜について …… 17
◦入試過去問題活用宣言について …… 17
入学者選抜の実施教科・科目等について …… 18
◦一般選抜（前期日程）における教育学部の実技検査等について …… 33
外部英語検定試験スコアによるみなし満点（又は加点）制度の利用について …… 34
総合型選抜（ＡＯ型選抜）（表１）…… 35
総合型選抜（自己推薦型選抜）（表２）…… 37
学校推薦型選抜Ⅰ（表３）…… 48
学校推薦型選抜Ⅱ（表４）…… 67
国際バカロレア選抜（表５）…… 98
私費外国人学部留学生選抜（表６）…… 101
障害等のある入学志願者の事前相談 …… 103
学生募集要項の公表時期及び大学案内等の請求方法 …… 104
資料　令和７年度入学者選抜に関する入試状況 …… 105

〔令和７年７月〕

鹿　児　島　大　学

5　学校推薦型選抜Ⅱ［大学入学共通テストを課す］

次に示す学部・学科・課程等の入学定員の一部について、高等学校長（中等教育学校長、高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。）の推薦に基づき、大学入学共通テスト、小論文、実技検査、面接、出願書類等を各学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせて選抜を行います。詳細については、14頁及び67～97頁を参照してください。

なお、総合型選抜（自己推薦型選抜）との併願はできません。

法　文　学　部　－　全学科（全コース）
教　育　学　部　－　学校教育教員養成課程
　　初等教育コース（一般、音楽、保健体育）
　　中等教育コース（国語、社会、英語、数学、理科）
理　　学　　部　－　理学科（全プログラム）
医　　学　　部　－　医学科
歯　　学　　部　－　歯学科
工　　学　　部　－　全学科（全プログラム）
農　　学　　部　－　農学科
共同獣医学部　－　共同獣医学科

一人の入学志願者が一つの年度において国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜に出願できるのは、大学入学共通テストを課す選抜及び課さない選抜を含めて、一つの大学・学部に限られています。

したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。

ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合に備えて、本学の同一の募集単位（学科・課程・専攻等）が実施する学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

（参考）国立大学協会ホームページ　https://www.janu.jp/univ/exam/

6　国際バカロレア選抜

国際バカロレア資格取得者を対象に、他の選抜とは異なった選抜を行います。詳細については、98～100頁を参照してください。

7　私費外国人学部留学生選抜

私費外国人学部留学生を対象に、他の選抜とは異なった選抜を行います。詳細については、101～102頁を参照してください。

入学者選抜実施日程

大学入学共通テスト	試験日	令和８年１月17日(土)・18日(日)

やむを得ない事由によって、本要項の記載とは異なる日程、方法等で選抜を実施することがあります。変更となる場合は決定次第、学生募集要項及びホームページで公表いたします。

選抜区分		学部	学生募集要項発表	出願期間	個別テスト等	合格者発表	入学手続
一般選抜	前期日程	全学部	11月中旬	１月26日(月)～２月４日(水)	２月25日(水) （教育学部、医学部医学科、医学部保健学科看護学専攻及び歯学部　２月25日(水)・26日(木)）	３月６日(金)	３月６日(金)～15日(日)
	後期日程				３月12日(木) （理学部及び共同獣医学部共同獣医学科は個別テスト等を課さない）	３月23日(月)	３月23日(月)～27日(金)

総合型選抜（ＡＯ型選抜）［大学入学共通テストを課さない］	工学部	８月下旬	９月24日(水)～26日(金)	10月18日(土)	11月４日(火)	11月４日(火)～11日(火)
	水産学部			10月16日(木)		

総合型選抜（自己推薦型選抜）［大学入学共通テストを課す］	法文学部 理学部 工学部	９月下旬	11月４日(火)～６日(木)	12月13日(土)	２月10日(火)	２月10日(火)～18日(水)
	医学部 歯学部 農学部 水産学部 共同獣医学部			12月13日(土)・14日(日)		

選抜区分	学　部	学生募集要項発表	出願期間	個別テスト等	合格者発表	入学手続
学校推薦型選抜Ⅰ［大学入学共通テストを課さない］	法文学部 教育学部 医学部 工学部 農学部 水産学部 共同獣医学部	8月下旬	11月4日㈫ ～ 6日㈭	11月18日㈫	12月4日㈭	12月4日㈭ ～ 11日㈭
学校推薦型選抜Ⅱ［大学入学共通テストを課す］	法文学部 教育学部 理学部 医学部 歯学部 工学部 共同獣医学部	9月下旬	11月21日㈮ ～ 26日㈬	12月13日㈯	2月10日㈫	2月10日㈫ ～ 18日㈬
	農学部		1月23日㈮ ～ 27日㈫	個別テスト等は出願書類のみ		
国際バカロレア選抜	全学部	9月下旬	11月21日㈮ ～ 26日㈬	12月13日㈯ （法文学部人文学科、工学部及び水産学部水産学科の個別テスト等は出願書類のみ）	2月10日㈫	2月10日㈫ ～ 18日㈬
私費外国人学部留学生選抜	教育学部 医学部 歯学部 農学部 水産学部 共同獣医学部	8月下旬	11月4日㈫ ～ 6日㈭	12月13日㈯	12月23日㈫	12月23日㈫ ～ 1月13日㈫
	法文学部 理学部 工学部				2月10日㈫	2月10日㈫ ～ 27日㈮

募　集　人　員

学部	学科・課程等			入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	募集人員 一般選抜 後期日程	募集人員 総合型選抜（AO型選抜）	募集人員 総合型選抜（自己推薦型選抜）	募集人員 学校推薦型選抜Ⅰ	募集人員 学校推薦型選抜Ⅱ	募集人員 国際バカロレア選抜	募集人員 私費外国人学部留学生選抜
法文学部	法経社会学科	法学コース		245	70	8			3	9	各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
		地域社会コース			※1 98	※1 20			※1 7	※1 30		
		経済コース										
	人文学科	多元地域文化コース		165	80	10		5	10	20		
		心理学コース			30				2	8		
	小計			410	278	38		5	22	67		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	190	68	15				15	若干人	若干人
			音楽							5		
			保健体育							9		
		中等教育コース	国語		5					3	各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
			社会		3					2		
			英語		6					2		
			数学		6					2		
			理科		5					3		
			技術		3				2			
			家政		3				2			
			音楽		5							
			美術		3				2			
			保健体育		6							
		特別支援教育コース			11	4						
	小計			190	124	19			6	41		
理学部	理学科	数理情報科学プログラム		185	26					10		各募集単位とも若干人
		物理・宇宙プログラム			25					11		
		化学プログラム			25					9		
		生物学プログラム			21					9		
		地球科学プログラム			14					8		
		括り枠				13		14			若干人	
	小計			185	111	13		14		47		

（次頁へつづく）

（注）　総合型選抜（自己推薦型選抜）と学校推薦型選抜Ⅱの併願はできません。
（注）　総合型選抜（AO 型選抜）、総合型選抜（自己推薦型選抜）、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科を除く）及び国際バカロレア選抜（歯学部歯学科）の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に含めます。また、国際バカロレア選抜（医学部医学科）の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般選抜（後期日程）の募集人員に含めます。
（注）　国際バカロレア選抜、私費外国人学部留学生選抜の入学手続完了者は、入学定員に含めます。
（注）　医学部医学科及び歯学部歯学科において私費外国人学部留学生選抜の入学手続完了者がいる場合、一般選抜の合格者数が募集人員より少なくなることがあります。
（注）　理学部の括り枠についての詳細は、16頁を参照してください。
※１　法文学部法経社会学科の地域社会コース及び経済コースについては、２年次に進んだ時にコースを決定します。なお、各コースの定員は、地域社会コースが50人、経済コースが105人の予定です。

（前頁からつづく）

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	総合型選抜（AO型選抜）	総合型選抜（自己推薦型選抜）	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	国際バカロレア選抜	私費外国人学部留学生選抜
	医学科		※2 110	69	19				※2 20	2	
医学部	保健学科	看護学専攻	120	※3 a 32 b 15			8	25		各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
		理学療法学専攻		14	2			4			
		作業療法学専攻		14	3			3			
	小計		230	144	24		8	32	20	2	
歯学部	歯学科		53	35	5		3		8	2	若干人
工学部	先進工学科	括り枠	385	※4 30		8					
		機械工学プログラム		※4 51	※4 11		5	※5専 2 普 6	10	各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
		電気電子工学プログラム		※4 46	※4 13			2	10		
		海洋土木工学プログラム		※4 26	※4 3			2	※5専 2 普10		
		化学工学プログラム		※4 20	※4 3				※5専 2 普 6		
		化学生命工学プログラム		※4 30	※4 6				9		
		情報・生体工学プログラム		※4 43	※4 10				※5専 4 普15		
	建築学科	建築学プログラム	55	34	5		5		11		
	小計		440	280	51	8	10	12	79		
農学部	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）		12	9			3			各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
	農学科		163	82	20		10	※5専12 普 5	34		
	小計		175	91	20		13	17	34		
水産学部	国際食料資源学特別コース（水産学系サブコース）		10	7			3			各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
	水産学科		130	60	54	4		12			
	小計		140	67	54	4	3	12			
共同獣医学部	共同獣医学科		30	※3 a 10 b 10	2		6		2	各募集単位とも若干人	各募集単位とも若干人
	畜産学科		30	14	5		5	※5専 4 普 2			
	小計		60	34	7		11	6	2		
合計			1,883	1,164	231	12	67	107	298	4	

（注）　工学部の括り枠についての詳細は、16頁を参照してください。
※２　医学部医学科の入学定員は令和７年度を期限とする暫定的な増員（学校推薦型選抜Ⅱ：20人）を含むものであり、令和８年度においても地域枠に係る臨時定員増を申請予定ですが、現時点において確定した人数ではありません。今後、募集人員について変更がある場合は、学生募集要項又は本学ホームページ等において公表します。
※３　ａ：配点パターンａ（大学入学共通テスト重視型）　ｂ：配点パターンｂ（個別テスト等重視型）
※４　工学部先進工学科の各プログラムの募集人員は目安の人員であり、志願状況等により合格者数は増減があります。
※５　専：専門教育を主とする学科及び総合学科　普：普通科あるいはこれに準ずる学科

学部・学科等名 ＼ 選抜方法等	学校推薦型選抜								専門学科・総合学科卒業生選抜	帰国生徒選抜	社会人選抜
	学校推薦型選抜Ⅰ 大学入学共通テストを課さない	学校推薦型選抜Ⅱ 大学入学共通テストを課す	個別テスト等					募集人員			
			面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	出願書類を評価して採点する	その他				
法文学部 法経社会学科 法学コース	○	×	○	○	×	×	×	3人			
	×	○	○	×	×	×	×	9人			
法文学部 法経社会学科 地域社会コース・経済コース	○	×	○	○	×	×	×	7人			
	×	○	×	○	×	×	×	30人			
法文学部 人文学科 多元地域文化コース	○	×	○	○	×	×	×	10人			
	×	○	×	○	×	○	×	20人			
法文学部 人文学科 心理学コース	○	×	○	○	×	×	×	2人			
	×	○	○	×	×	○	×	8人			
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 一般	×	○	○	×	×	○	×	15人			
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽	×	○	○	×	○	○	×	5人			
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 保健体育	×	○	○	×	×	○	×	9人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 国語	×	○	○	×	×	○	×	3人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 社会	×	○	○	×	×	○	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 英語	×	○	○	×	×	○	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 数学	×	○	○	×	×	○	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 理科	×	○	○	×	×	○	×	3人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 技術	○	×	○	○	○	○	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 家政	○	×	○	○	×	×	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽	×	×	×	×	×	×	×	×			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 美術	○	×	○	×	○	○	×	2人			
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 保健体育	×	×	×	×	×	×	×	×			
教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	×	×	×	×	×	×	×	×			
理学部 理学科 数理情報科学プログラム	×	○	○	×	×	×	×	10人			
理学部 理学科 物理・宇宙プログラム	×	○	○	×	×	×	×	11人			
理学部 理学科 化学プログラム	×	○	○	×	×	×	×	9人			
理学部 理学科 生物学プログラム	×	○	○	×	×	×	×	9人			
理学部 理学科 地球科学プログラム	×	○	○	×	×	×	×	8人			
理学部 理学科 括り枠	×	×	×	×	×	×	×	×			
医学部 医学科	×	○	○	×	×	×	×	20人	実施しない		
医学部 保健学科 看護学専攻	○	×	○	○	×	×	×	25人			
医学部 保健学科 理学療法学専攻	○	×	○	○	×	×	×	4人			
医学部 保健学科 作業療法学専攻	○	×	○	○	×	×	×	3人			
歯学部 歯学科	×	○	○	×	×	×	×	8人			
工学部 先進工学科 機械工学プログラム 専門	○	×	○	○	×	○	×	2人			
工学部 先進工学科 機械工学プログラム 普通	○	×	○	○	×	○	×	6人			
	×	○	○	×	×	○	×	10人			
工学部 先進工学科 電気電子工学プログラム	○	×	○	×	×	○	×	2人			
	×	○	○	×	×	○	×	10人			
工学部 先進工学科 海洋土木工学プログラム	○	×	○	○	×	○	×	2人			
工学部 先進工学科 海洋土木工学プログラム 専門	×	○	○	×	×	○	×	2人			
工学部 先進工学科 海洋土木工学プログラム 普通	×	○	○	×	×	○	×	10人			
工学部 先進工学科 化学工学プログラム 専門	×	○	○	×	×	○	×	2人			
工学部 先進工学科 化学工学プログラム 普通	×	○	○	×	×	○	×	6人			
工学部 先進工学科 化学生命工学プログラム	×	○	○	×	×	○	×	9人			
工学部 先進工学科 情報・生体工学プログラム 専門	×	○	○	×	×	○	×	4人			
工学部 先進工学科 情報・生体工学プログラム 普通	×	○	○	×	×	○	×	15人			
工学部 建築学科 建築学プログラム	×	○	○	×	×	○	×	11人			
農学部 国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	×	×	×	×	×	×	×	×			
農学部 農学科 専門	○	×	○	○	×	×	×	12人			
農学部 農学科 普通	○	×	×	○	×	×	○	5人			
	×	○	×	×	×	○	×	34人			
水産学部 国際食料資源学特別コース（水産学系サブコース）	×	×	×	×	×	×	×	×			
水産学部 水産学科	○	×	○	○	×	○	×	12人			
共同獣医学部 共同獣医学科	×	○	○	○	×	×	×	2人			
共同獣医学部 畜産学科 専門	○	×	○	○	×	×	×	4人			
共同獣医学部 畜産学科 普通	○	×	×	○	×	×	○	2人			

※詳細については、学校推薦型選抜Ⅰは48～66頁を、学校推薦型選抜Ⅱは67～97頁を参照してください。

医 学 部

（注）大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」において、１科目のみを課している場合は、第１解答科目として選択解答してください。

学科等名		区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別テスト等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等 区分		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
医学科		前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 地理、日本史、世界史 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 物、化、生から２ 英 情Ⅰ ［６教科８科目］	数 理 外 その他	数ⅠⅡⅢABC 物、化、生から２ 英コⅠ・英コⅡ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 面接	共通テスト		200	100	200	200	200	25					925
							個別テスト等				200	400	200				120		920
							計		200	100	400	600	400	25			120		1845
		後期			その他	小論文 面接	共通テスト		200	100	200	200	200	25					925
							個別テスト等								200		120		320
							計		200	100	200	200	200	25	200		120		1245
保健学科	看護学専攻	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 地理、日本史、世界史、地歴公 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 物、化、生から２ 英、独、仏、中、韓から１ 情Ⅰ ［６教科８科目］	理 外 その他	物、化、生から１ 英コⅠ・英コⅡ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 面接	パターンa	共通テスト	200	100	200	200	200	25					925
								個別テスト等				200	200				100		500
								計	200	100	200	400	400	25			100		1425
							パターンb	共通テスト	100	50	100	100	100	12.5					462.5
								個別テスト等				200	200				100		500
								計	100	50	100	300	300	12.5			100		962.5
	作業療法学専攻 理学療法学専攻	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 地理、日本史、世界史、地歴公 公倫、公政経 } から１ 数ⅠA 数ⅡBC 理科基礎、物、化、生、地学から１ 英、独、仏、中、韓から１ 情Ⅰ ［６教科７科目］	理 外	物、化、生から１ 英コⅠ・英コⅡ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	共通テスト		200	100	200	100	200	25					825
							個別テスト等					200	200						400
							計		200	100	200	300	400	25					1225
		後期			その他	小論文 面接	共通テスト		200	100	200	100	200	25					825
							個別テスト等								200		100		300
							計		200	100	200	100	200	25	200		100		1125

注）医学部保健学科看護学専攻の前期日程は、２つの配点パターンのうちいずれかを出願時に選択する必要があります。
注）医学部保健学科看護学専攻については、後期日程の募集はありません。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄について

1　地理歴史及び公民を課す学部・学科等において、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、第１解答科目の成績を利用します。

2　「地歴公」については、地理総合、歴史総合及び公共の３つの出題範囲のうちから、２つを選択する必要があります。

　また、地理歴史及び公民を２科目受験する場合については、以下のとおりです。

⑴「公倫」と「公政経」の組合せを選択することはできません。

⑵「地歴公」を選択する場合は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

3　数学を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、得点の高い科目の成績を利用します。

4　理科を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、第１解答科目の成績を利用します。

5　「理科基礎」については、物理基礎、化学基礎、生物基礎及び地学基礎の４つの出題範囲のうちから、２つを選択する必要があります。

　ただし、「理科基礎」を受験し、かつ「物」、「化」、「生」及び「地学」の４科目のうちから１科目を受験する場合は、「理科基礎」において選択した２つの出題範囲と同一名称を付した科目の選択は認めません。

6　「英」にはリスニングを含みます。また、「英」においてリーディングのみを受験しリスニングを受験しなかった者は、本学の指定する教科・科目を受験していない「出願無資格者」として取り扱いますので注意してください。

【個別テスト等】欄について

出題範囲

1　数学

⑴ 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。

　ただし、教育学部については、選択問題において数学Ⅲの内容を含む問題と含まない問題の選択ができるものとします。

⑵ 数学Ａは「図形の性質」及び「場合の数と確率」を出題範囲とします。

⑶ 数学Ｂは「数列」を出題範囲とします。

⑷ 数学Ｃは以下のとおりとします。

①　教育・理（化学、生物学）・農・水産・共同獣医

「ベクトル」を出題範囲とします。

②　理（数理情報科学、物理・宇宙、地球科学）・医・歯・工

「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

2　理科

⑴ 「物」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。

⑵ 「化」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。

⑶ 「生」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。

⑷ 「地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】欄について

1　配点に※を付してある教科について

(1)　法文学部法経社会学科法学コース（後期日程）において、大学入学共通テストを指定した科目数以上受験している場合、「国語」、「地理歴史及び公民」、「数学」及び「理科」のうちから得点の高い２教科の成績を利用します。(19頁)

(2)　法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース（後期日程）において、大学入学共通テストを指定した科目数以上受験している場合、「地理歴史及び公民」、「数学」及び「理科」のうちから得点の高い１教科の成績を利用します。(19頁)

(3)　法文学部人文学科多元地域文化コース（後期日程）において、大学入学共通テストを指定した科目数以上受験している場合、「地理歴史及び公民」及び「数学」のうちから得点の高い１教科の成績を利用します。(19頁)

(4)　教育学部において、大学入学共通テストの数学及び理科に※を付してあるものは、「数学２科目・200点、理科１科目・100点」、あるいは、「数学１科目・100点、理科２科目・200点」の配点となります。

　なお、数学及び理科を合わせて４科目受験している場合は、(i) 数学の得点の高い科目、(ii) 理科の第１解答科目、(iii) 残りの科目のうち得点の高い方の科目の成績を利用します。(20～22頁)

(5)　教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース音楽（前期日程）における個別テスト等（実技等）に※を付してあるものは、楽典60点、実技検査440点の配点となります。(21頁)

(6)　工学部における個別テスト等（面接）に※を付してあるものは、段階評価を表します。(26頁)

2　配点に＊を付してある教科について

(1)　教育学部において、配点に＊を付してある教科は選択教科を表します。(20～22頁)

(2)　農学部において、配点に＊を付してある教科は選択教科を表します。(27頁)

(3)　水産学部において、配点に＊を付してある教科は選択教科を表します。(27頁)

(4)　共同獣医学部において、配点に＊を付してある教科は選択教科を表します。(28頁)

3　大学入学共通テストにおける外国語の配点について

(1)　『英語』を受験した者については、試験の成績（リーディング100点、リスニング100点、合計200点満点）に対する配点比率を下表のとおり換算したうえで、さらに各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

ただし、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績（100点満点）を200点満点に換算したうえで、さらに各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

(2)　『英語』以外の科目を受験した者については、試験の成績（200点満点）を各学部・学科等が定める配点に換算して利用します。

学部	学科・課程等			前期日程				後期日程		
				配点パターン	リーディング	リスニング	計	リーディング	リスニング	計
法文学部	法経社会学科	法学コース			120	30	150	160	40	200
		地域社会コース・経済コース								
	人文学科	多元地域文化コース						120	30	150
		心理学コース								
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース（一般）			160	40	200	160	40	200
		中等教育コース	国語							
			社会							
			英語							
			数学							
			理科							
			技術							
			家政							
			音楽							
			美術							
			保健体育							
		特別支援教育コース						160	40	200
理学部	理学科（全プログラム）			パターンa	160	40	200	160	40	200
				パターンb	100	25	125			
	医学科				150	50	200	150	50	200
医学部	保健学科	看護学専攻		パターンa	160	40	200			
				パターンb	80	20	100			
		理学療法学専攻			160	40	200	160	40	200
		作業療法学専攻								
歯学部	歯学科			パターンa	160	40	200	160	40	200
				パターンb	80	20	100			
工学部	全学科（全プログラム）				120	30	150	160	40	200
農学部	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）				320	80	400			
	農学科				240	60	300	240	60	300
水産学部	国際食料資源学特別コース（水産学系サブコース）				320	80	400			
	水産学科				160	40	200	160	40	200
共同獣医学部	共同獣医学科			パターンa	160	40	200	160	40	200
				パターンb	80	20	100			
	畜産学科				240	60	300	240	60	300

学校推薦型選抜Ⅱ

表　4－18

<table>
<tr><td>実施学部・学科等名</td><td>医学部　医学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>20人（８頁※２参照）</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>次の各号に該当する者で、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの
１　鹿児島県内の高等学校の学科に在学し、令和８年３月までに卒業見込みの者、又は鹿児島県内の高等学校を卒業した者
ただし、通信制高校（通学コース(注)の学生は除く。）においては、キャンパスの所在が鹿児島県内であり、鹿児島県内に在住のうえ、令和８年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者
２　合格した場合は、入学することを確約できる者
３　以下の推薦要件を満たす者
<u>○推薦要件</u>
(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がＡで、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者
(2) 入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者
※医師修学資金貸与制度
鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする制度
※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン
鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とするプラン
※鹿児島県キャリア形成プログラム
医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をするプログラム</td></tr>
<tr><td>選　抜　方　法　等</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。
調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とします。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</td><td colspan="2">個別テスト等</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　目　名　等</td><td>教科等</td><td>科目名等</td></tr>
<tr><td>国
地歴
公民
数

理
外
情</td><td>国
地理、日本史、世界史
公倫、公政経 } から１
数ＩＡ
数ⅡＢＣ
物、化、生から２
英
情Ｉ
［６教科８科目］</td><td>その他</td><td>面接</td></tr>
</table>
【注意】
【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄については、29頁に記載の取扱いに準じます。</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>令和７年11月21日（金）～11月26日（水）</td></tr>
<tr><td>選　抜　期　日</td><td>令和７年12月13日（土）</td></tr>
<tr><td>合格者発表日</td><td>令和８年２月10日（火）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td>（注）通信制高校の通学コースを令和８年３月までに卒業見込みの者、又は卒業した者が出願する場合は、事前に出願要件について問い合わせること。
※推薦人員
各校から５人以内
※対象となる高等学校の学科
全学科
※面接
鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者について、医療人としての適性及び能力をみます。</td></tr>
</table>

学生募集要項の公表時期及び大学案内等の請求方法

1 学生募集要項の公表時期

募集要項の名称	募集要項略称	公表時期	備　　考
一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項	一般募集要項	11月中旬	全学部（前期・後期共通）
総合型選抜（AO型選抜）学生募集要項	ＡＯ募集要項	8月下旬	工学部、水産学部
総合型選抜（自己推薦型選抜）学生募集要項	自己推薦型募集要項	9月下旬	該当学部
学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項	推薦Ⅰ募集要項	8月下旬	該当学部
学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項	推薦Ⅱ募集要項	9月下旬	該当学部
国際バカロレア選抜学生募集要項	国際バカロレア募集要項	9月下旬	全学部
私費外国人学部留学生選抜学生募集要項	私費外国人募集要項	8月下旬	全学部

※本学ホームページ（入試案内）のインターネット出願（学部入試）から電子ファイル（PDF 形式）をダウンロードして入手、又は参照してください。
※上記の学部入試は、すべてインターネット出願となります。
※各学生募集要項の公表時期は予定であり、変更となることがあります。

2 大学案内等の請求方法

⑴テレメールで請求する場合

（ア）テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネットの場合
（パソコン・スマートフォン）

テレメール

https://telemail.jp

資料請求はこちら
（資料請求番号の入力不要）

※鹿児島大学ホームページ（入試案内）の受験生向けの入試情報（入試関係資料請求）（https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/）からもアクセスできます。

（イ）資料請求番号を入力してください。

資　料　名	資料請求番号	料　金
大学案内	568152	250円
入学者選抜要項	588192	250円
入学者選抜要項＋大学案内	547172	310円
法文学部案内	568172	180円
教育学部案内	568182	180円
理学部案内	568192	180円
医学部保健学科リーフレット	549672	180円
工学部案内	588162	215円
農学部案内	594382	180円
水産学部案内	588182	180円
共同獣医学部案内	594392	180円

※医学部医学科及び歯学部の案内は作成していませんので、「大学案内」を参照してください。

（ウ）あとはガイダンスに従って登録してください。

・資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。土曜日・日曜日・祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。なお、16 時までの受付は当日発送、16 時以降の受付は翌日発送となります。発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。

・資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
料金のお支払い方法は「コンビニ払い」「au PAY 請求書支払い」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になれます（別途手数料が必要です）。なお、1 回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
TEL 050–8601–0102（9:30～18:00）

⑵鹿児島大学で直接受け取る場合

鹿児島大学事務局1階の入試課窓口（8：30～17：15）で配付します。
※土曜日・日曜日・祝日・大学が指定する休日を除く。

※ 問い合わせはやむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部	学科等	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学辞退者	入学者
法文学部	法経社会学科	39	48 (29)	1.2	47 (29)	39 (25)	0 (0)	39 (25)
	法学コース	9	13 (8)	1.4	12 (8)	9 (7)	0 (0)	9 (7)
	地域社会コース・経済コース	30	35 (21)	1.2	35 (21)	30 (18)	0 (0)	30 (18)
	人文学科	28	62 (49)	2.2	56 (44)	28 (22)	0 (0)	28 (22)
	多元地域文化コース	20	37 (28)	1.9	33 (25)	20 (16)	0 (0)	20 (16)
	心理学コース	8	25 (21)	3.1	23 (19)	8 (6)	0 (0)	8 (6)
	小計	67	110 (78)	1.6	103 (73)	67 (47)	0 (0)	67 (47)
教育学部	学校教育教員養成課程	41	88 (62)	2.1	88 (62)	38 (29)	0 (0)	38 (29)
	初等教育コース（一般）	15	43 (29)	2.9	43 (29)	15 (11)	0 (0)	15 (11)
	初等教育コース（音楽）	5	5 (5)	1.0	5 (5)	5 (5)	0 (0)	5 (5)
	初等教育コース（保健体育）	9	11 (6)	1.2	11 (6)	9 (5)	0 (0)	9 (5)
	中等教育コース（国語）	3	11 (9)	3.7	11 (9)	3 (3)	0 (0)	3 (3)
	中等教育コース（社会）	2	7 (4)	3.5	7 (4)	2 (1)	0 (0)	2 (1)
	中等教育コース（英語）	2	4 (3)	2.0	4 (3)	2 (2)	0 (0)	2 (2)
	中等教育コース（数学）	2	3 (2)	1.5	3 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	中等教育コース（理科）	3	4 (4)	1.3	4 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	小計	41	88 (62)	2.1	88 (62)	38 (29)	0 (0)	38 (29)
理学部	理学科	47	52 (18)	1.1	52 (18)	39 (13)	0 (0)	39 (13)
	数理情報科学プログラム	10	17 (3)	1.7	17 (3)	10 (2)	0 (0)	10 (2)
	物理・宇宙プログラム	11	15 (6)	1.4	15 (6)	10 (2)	0 (0)	10 (2)
	化学プログラム	9	5 (3)	0.6	5 (3)	5 (3)	0 (0)	5 (3)
	生物学プログラム	9	6 (4)	0.7	6 (4)	6 (4)	0 (0)	6 (4)
	地球科学プログラム	8	9 (2)	1.1	9 (2)	8 (2)	0 (0)	8 (2)
	小計	47	52 (18)	1.1	52 (18)	39 (13)	0 (0)	39 (13)
医学部	医学科	20	55 (34)	2.8	54 (33)	20 (14)	0 (0)	20 (14)
	小計	20	55 (34)	2.8	54 (33)	20 (14)	0 (0)	20 (14)
歯学部	歯学科	8	21 (17)	2.6	21 (17)	8 (7)	0 (0)	8 (7)
	小計	8	21 (17)	2.6	21 (17)	8 (7)	0 (0)	8 (7)
工学部	先進工学科	66	81 (11)	1.2	79 (11)	49 (8)	0 (0)	49 (8)
	機械工学プログラム	10	17 (1)	1.7	16 (1)	10 (0)	0 (0)	10 (0)
	電気電子工学プログラム	10	6 (0)	0.6	5 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	海洋土木工学プログラム(専)注1	2	3 (0)	1.5	3 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	海洋土木工学プログラム(普)注2	10	18 (4)	1.8	18 (4)	10 (3)	0 (0)	10 (3)
	化学工学プログラム	6	10 (0)	1.7	10 (0)	6 (0)	0 (0)	6 (0)
	化学生命工学プログラム	9	7 (2)	0.8	7 (2)	7 (2)	0 (0)	7 (2)
	情報・生体工学プログラム(専)注1	4	5 (0)	1.3	5 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	情報・生体工学プログラム(普)注2	15	15 (4)	1.0	15 (4)	10 (3)	0 (0)	10 (3)
	建築学科	11	18 (6)	1.6	18 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	建築学プログラム（文系科目重視型）	4	3 (2)	0.8	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	建築学プログラム（理系科目重視型）	4	14 (3)	3.5	14 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	建築学プログラム（実技試験型）	3	1 (1)	0.3	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計	77	99 (17)	1.3	97 (17)	49 (8)	0 (0)	49 (8)
農学部	農学科	30	63 (30)	2.1	63 (30)	30 (13)	0 (0)	30 (13)
	小計	30	63 (30)	2.1	63 (30)	30 (13)	0 (0)	30 (13)
共同獣医学部	共同獣医学科	2	5 (4)	2.5	5 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	小計	2	5 (4)	2.5	5 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
合計		292	493 (260)	1.7	483 (254)	252 (132)	0 (0)	252 (132)

注１　専門教育を主とする学科及び総合学科
注２　普通科あるいはこれに準ずる学科

【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部	学科・課程等	募集人員	合格者数	追加合格者数	配点合計	合格者		
						最高点	最低点	平均点
法文学部	法経社会学科							
	法学コース	9	9	0	910.00	・・・	・・・	602.81
	地域社会コース・経済コース	30	30	0	1,520.00	1,048.00	822.90	923.61
	人文学科							
	多元地域文化コース	20	20	0	2,020.00	1,615.45	1,437.05	1,494.67
	心理学コース	8	8	0	920.00	・・・	・・・	634.75
教育学部	学校教育教員養成課程							
	初等教育コース（一般）	15	15	0	1,520.00	1,195.40	1,011.00	1,087.29
	初等教育コース（音楽）	5	5	0	2,020.00	・・・	・・・	・・・
	初等教育コース（保健体育）	9	9	0	1,520.00	・・・	・・・	903.27
	中等教育コース（国語）	3	3	0	1,520.00	・・・	・・・	・・・
	中等教育コース（社会）	2	2	0	1,520.00	・・・	・・・	・・・
	中等教育コース（英語）	2	2	0	1,520.00	・・・	・・・	・・・
	中等教育コース（数学）	2	1	0	1,520.00	・・・	・・・	・・・
	中等教育コース（理科）	3	1	0	1,520.00	・・・	・・・	・・・
理学部	理学科							
	数理情報科学プログラム	10	10	0	1,200.00	810.18	640.18	707.52
	物理・宇宙プログラム	11	10	0	1,200.00	732.78	552.82	652.93
	化学プログラム	9	5	0	1,200.00	・・・	・・・	・・・
	生物学プログラム	9	6	0	1,200.00	・・・	・・・	611.88
	地球科学プログラム	8	8	0	1,200.00	・・・	・・・	658.82
医学部	医学科	20	20	0	1,005.00	896.50	772.75	818.58
歯学部	歯学科	8	8	0	1,130.00	・・・	・・・	826.56
工学部	先進工学科							
	機械工学プログラム	10	10	0	1,000.00	777.00	569.00	654.96
	電気電子工学プログラム	10	2	0	1,000.00	・・・	・・・	・・・
	海洋土木工学プログラム(専) 注1	2	2	0	1,000.00	・・・	・・・	・・・
	海洋土木工学プログラム(普) 注2	10	10	0	1,000.00	836.75	620.00	681.65
	化学工学プログラム	6	6	0	1,000.00	・・・	・・・	712.08
	化学生命工学プログラム	9	7	0	1,000.00	・・・	・・・	593.93
	情報・生体工学プログラム(専) 注1	4	2	0	1,100.00	・・・	・・・	・・・
	情報・生体工学プログラム(普) 注2	15	10	0	1,100.00	831.67	725.67	777.68
	建築学科							
	建築学プログラム（文系科目重視型）	4	0	0	1,000.00	・・・	・・・	・・・
	建築学プログラム（理系科目重視型）	4	0	0	1,000.00	・・・	・・・	・・・
	建築学プログラム（実技試験型）	3	0	0	1,000.00	・・・	・・・	・・・
農学部	農学科	30	30	0	1,525.00	1,163.10	966.68	1,032.64
共同獣医学部	共同獣医学科	2	1	0	1,420.00	・・・	・・・	・・・

注１　専門教育を主とする学科及び総合学科
注２　普通科あるいはこれに準ずる学科

初期地域医療実習1

Initial community health practice 1

ナンバリングコード	FME-MED1801		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	前期	学年	1年
曜日	不定	時限	不定
履修期	1期	授業形態	実習
科目区分	選択	単位数	1単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	5日間

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

﨑山隼人、網谷真理恵、指宿りえ、水間喜美子

■授業概要

目的：地域特有の生活、文化、自然環境、医療環境に関する素養を早期から身に付けるため、現地の医療機関を中心としたフィールドにおいて、滞在型の医療見学、体験、地域観察の実習を行う。
方略：実習前に、様式2(3)に記載の動画コンテンツや自大学作成の動画コンテンツを含め視聴する。夏季休暇期間を主に利用し、離島・へき地に4泊～5泊滞在し、現地の診療所・病院、役場などを見学する。医療機関では、直接住民（患者、その家族）と接しコミュニケーションを取る。非観血的な検査（血圧測定など）を行い、その手技を学ぶ。多職種（看護師、医療事務、薬剤師、理学療法士など）と接する機会を設ける。体験した内容を、他の地域枠医学生や関係者の
前で発表する。
夏季実習に同行する、自治医科大学医学生（1・2年次）にも、視聴をお願いする

■学修目標

地域の文化、暮らし、地理的な環境を説明できる
地域の医療体制を知り、説明できる
地域医療の重要性を体験する
地域住民の思いを知り、説明できる

■授業計画

8月の夏休み期間に、約5日間、離島やへき地で病院・診療所等の臨床実習を行う。6時間×5日間　全30時間。

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

【予習】
実習地域について、実習開始までに情報を得る。
【復習】
授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（学修に係る標準時間は約30分）

■教科書

地域医療入門　診断と治療社

■参考書

なし

■成績評価方法・評価基準

評価法：①360度評価を実施する。
②教員が一緒に行動し、直接態度などを判定
③発表会の内容

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099-275-6853

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp ）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

地域枠の学生：必ず履修すること
地域枠以外の学生：希望者のみ履修を受け付けます（最大8名）　定員を超えた場合は抽選になります。

■実務経験のある教員による実践的授業

医師の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

地域の文化、暮らし、地理的な環境を説明できる
地域の医療体制を知り、説明できる
地域医療の重要性を体験する
地域住民の思いを知り、説明できる

■Phase

1，2

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

PR-01, PR-03, GE-02, GE-04, SO-04, SO-06

■水平統合

臨床的知識、社会医学的な知識を必要とする

■垂直統合

感染症、微生物学、解剖学などの知識を活かして、地域医療の現状を解析する。

初期地域医療実習2

Initial community health practice 2

ナンバリングコード	FME-MED2802		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	前期	学年	2年
曜日	不定	時限	不定
履修期	3期	授業形態	実習
科目区分	選択	単位数	1単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	8月の夏休み期間に、約5日間、離島やへき地で病院・診療所等の臨床実習を行う。6時間×5日間　全30時間。

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

﨑山隼人、網谷真理恵、指宿りえ、水間喜美子

■授業概要

目的：地域特有の生活、文化、自然環境、医療環境に関する素養を早期から身に付けるため、現地の医療機関を中心としたフィールドにおいて、滞在型の医療見学、体験、地域観察の実習を行う。方略：実習前に、様式2(3)に記載の動画コンテンツや自大学作成の動画コンテンツを含め視聴する。夏季休暇期間を主に利用し、離島・へき地に4泊～5泊滞在し、現地の診療所・病院、役場などを見学する。医療機関では、直接住民（患者、その家族）と接しコミュニケーションを取る。非観血的な検査（血圧測定など）を行い、その手技を学ぶ。多職種（看護師、医療事務、薬剤師、理学療法士など）と接する機会を設ける。体験した内容を、他の地域枠医学生や関係者の 前で発表する。夏季実習に同行する、自治医科大学医学生（1・2年次）にも、視聴をお願いする

■学修目標

地域の文化、暮らし、地理的な環境を説明できる 地域の医療体制を知り、説明できる 地域医療の重要性を体験する 地域住民の思いを知り、説明できる

■授業計画

8月の夏休み期間に、約5日間、離島やへき地で病院・診療所等の臨床実習を行う。6時間×5日間　全30時間。

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

【予習】実習地域について、実習開始までに情報を得る。【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（学修に係る標準時間は約30分）

■教科書

地域医療学入門　診断と治療社

■参考書

■成績評価方法・評価基準

評価法：①360度評価を実施する。②教員が一緒に行動し、直接態度などを判定 ③発表会の内容

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099-275-6853

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp ）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

地域枠の学生：必ず履修すること 地域枠以外の学生：希望者のみ履修を受け付けます（最大8名） 定員を超えた場合は抽選になります。

■実務経験のある教員による実践的授業

医師の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

１）地域を知る
２）地域住民の思いを知る
３）地域での医療機関の役割を認識する
４）医療機関、行政、住民との関わりを知る

■Phase

Phase１・Phase ２

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

PR-01, PR-03, GE-02, GE-04, SO-04, SO-06

■水平統合

臨床系科目を学ぶ前の、地域そのものを知ることで、基礎的な知識や他の臨床系科目につなげる。

■垂直統合

臨床系科目を学ぶ前の、地域そのものを知ることで、他の臨床系科目につなげる。

地域医療研究

Community health research

ナンバリングコード	FME-MED3803		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	前期	学年	3年
曜日	不定	時限	不定
履修期	5期	授業形態	講義・実習
科目区分	選択	単位数	0.5単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	夏季休暇期間中に、自身で学修時間を設定する。約1日分（4コマ）を想定する。何日分けても可能。

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

網谷真理恵（地域医療学）、指宿りえ（地域医療学）、水間喜美子（離島へき地医療人育成センター）、﨑山隼人（医療人材連携教育センター）

■授業概要

目的：地域特有の行政、自然環境、医療環境に関心を持つ意識を早期から身に付ける。関係者と接し、研究・調査を計画する事で、コミュニケーションスキルを学ぶ。
方略：夏休み期間を利用し、離島・へき地等のフィールドにおいて、行政機関・医療機関を中心とした施設で、地域の問題点の抽出し、それに関する調査・研究を行い、学生・教員・関係者の前で発表する。対象フィールドや研究の概要は、同年4-7月に、教員と相談の上決定する。基本的に1課題／1人とする。できるだけ多職種（看護師、医療事務、薬剤師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護士、行政など）と接する機会を設ける。研究調査結果を報告会で発表する。
更に、優秀演題を選定し、同年10月頃に開催する長崎大学との合同発表会（地域枠活動報告会）で発表し、地域医療・互いの地域の理解を深める。

■学修目標

1）研究計画を立てる
2）研究の遂行に関する計画を立てられる
3）関係者とのコミュニケーションが取れる
4）研究をまとめることが出来る
5）研究のプレゼンテーションが出来る
6）他の研究へのアドバイスが出来る

■授業計画

夏季休暇期間中に、自身で学修時間を設定する。約1日分（4コマ）を想定する。何日分けても可能。

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

地域のビデオ視聴（4コマ）2学年共に同じビデオを視聴する・地域医療のリーダーシップに関するビデオを含む・討論・発表（1コマ）
計5コマ　120分×5の600分中　90分×5の450分は講義等で、残りの150分は予習と復習に充てる。

■教科書

地域医療学入門　診断と治療社『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』ピーター・F・ドラッカー『プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門』広兼 修

■参考書

なし

■成績評価方法・評価基準

①調査・研究内容の発表（内容・プレゼン状況）

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099－275－6898

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

地域枠の学生：必ず履修すること
地域枠以外の学生：希望者のみ履修を受け付けます（最大8名：多ければ抽選）

■実務経験のある教員による実践的授業

医師の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

地域の課題を自分で考える。
リサーチクエスチョンから調査・研究に落とし込むスキルを学ぶ。
調査研究のための、必要なコミュニケーションを学ぶことが出来る。

■Phase

1、2

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

PR-01, PR-03, GE-02, GE-04, SO-04, SO-06

■水平統合

研究スキルとして、自主研究などに繋がる科目である。

■垂直統合

基礎的知識、社会医学的な知識、医療経済学など多様な科目の知識を必要とする。

地域医療リーダーシップ1

Leadership of Community-Based Medicine 1

ナンバリングコード	FME-MED1804		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	後期	学年	1年
曜日	不定	時限	不定
履修期	2期	授業形態	実習
科目区分	選択	単位数	0.5単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	地域のビデオ視聴（4コマ）　討論・発表（1コマ）

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

網谷真理恵（地域医療学）、指宿りえ（地域医療学）、水間喜美子（離島へき地医療人育成センター）、﨑山隼人（医療人材連携教育センター）

■授業概要

目的：医療者のリーダーシップはチームビルディング、後進の育成、プレゼンテーション、組織運営、災害時、感染対策、健康増進など幅広い場面で必要とされる。リーダーシップの学びには、対象者の理解と行動科学の理論が求められる。
学修者は、本科目終了時に、自己の相対化、課題の抽出、施策立案、企画運営、実践と振り返りおよびアセスメントを実践することができるようになることを目標とする。

1) リーダーシップについてのディスカッション：自身と他者の考える概念を照らし合わせ、言語化する。
2) 自己認識のためのグループワーク
3) 組織マネジメントのグループワーク
4) 施策を立案・戦略構築のグループワーク
5) プロジェクト遂行のグループワーク
6) 全体を通して振り返り

■学修目標

1) 自分なりの言葉でリーダーシップを説明できる。
2) 自分の感情の状態を正しく把握し、それが周囲にどう影響しているか認識できる。
3) 自身や組織メンバーの業務の進捗状況や成果を照らし合わせてチェック・コントロールできる。
4) 組織や地域の将来を展望し、長期的なビジョンとそれを実現するための戦略を構築できる。
5) プロジェクトをどのように遂行すれば成功するのか計画を立ててコントロールできる。

■授業計画

1.リーダーシップについて考える
2.自己を認識するためのワーク
3.組織マネジメントに関する事例検討
4.施策を立案する事例検討

5.プロジェクトを遂行する事例検討
6.全体を通してまとめ

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

地域のビデオ視聴（4コマ）2学年共に同じビデオを視聴する
・地域医療のリーダーシップに関するビデオを含む
・討論・発表（1コマ）
計5コマ　120分×5の600分中　90分×5の450分は講義等で、残りの150分は予習と復習に充てる。

■教科書

地域医療学入門　診断と治療社
『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』ピーター・F・ドラッカー
『プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門』広兼 修

■参考書

『カモメになったペンギン』ジョン・P・コッター
『チームが機能するとはどういうことか――「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ』エイミー・C・エドモンドソン
『リーダーシップの旅 見えないものを見る』野田 智義 / 金井 壽宏
『【新版】組織行動のマネジメント―入門から実践へ』スティーブン・P・ロビンス

■成績評価方法・評価基準

学生同士のディスカッションの態度を教員が評価
プレゼンテーション内容を学生同士が評価する。

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099－275－6898

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

地域枠の学生：必ず履修すること
地域枠以外の学生：希望者のみ履修を受け付けます（最大8名：多ければ抽選）

■実務経験のある教員による実践的授業

地域の医師や医療従事者の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

事例の検討・課題解決を通し、医師としての自己認識を意識しながら、組織管理や施策立案、プロジェクトの遂行のための必要な知識・スキル・態度を学び、地域で働く医師に必要なリーダーシップを発揮できる。

■Phase

1、2

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

PR-01, PR-03, GE-02, GE-04, SO-04, SO-06

■水平統合

地域医療に関わる医師や医療者との交流に関して、動画を用いて疑似体験をする。
総合診療、社会医学と深く関係する。

■垂直統合

微生物学、病理学、解剖学の知識を下に、地域での診療がなされていることを、動画を用いて疑似体験をする。

地域医療リーダーシップ2

Leadership of Community-Based Medicine 2

ナンバリングコード	FME-MED5805		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	後期	学年	5年
曜日	不定	時限	不定
履修期	10期	授業形態	実習
科目区分	選択	単位数	0.5単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	地域のビデオ視聴（4コマ）討論・発表（1コマ）

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

網谷真理恵（地域医療学）、指宿りえ（地域医療学）、水間喜美子（離島へき地医療人育成センター）、﨑山隼人（医療人材連携教育センター）

■授業概要

目的：医療者のリーダーシップはチームビルディング、後進の育成、プレゼンテーション、災害時、感染対策、健康増進など幅広い場面で必要とされる。リーダーシップの学びには、対象者の理解と行動科学の理論が求められる。
学修者は、本科目終了時に、自己の相対化、課題の抽出、施策立案、企画運営、実践と振り返りおよびアセスメントを実践することができるようになることを目標とする。
1) リーダーシップについてのディスカッション：自身と他者の考える概念を照らし合わせ、言語化する。
2) 自己認識のためのグループワーク
3) 組織マネジメントのグループワーク
4) 施策を立案・戦略構築のグループワーク
5) プロジェクト遂行のグループワーク
6) 全体を通して振り返り

■学修目標

1) 自分なりの言葉でリーダーシップを説明できる。
2) 自分の感情の状態を正しく把握し、それが周囲にどう影響しているか認識できる。
3) 自身や組織メンバーの業務の進捗状況や成果を照らし合わせてチェック・コントロールできる。
4) 組織や地域の将来を展望し、長期的なビジョンとそれを実現するための戦略を構築できる。
5) プロジェクトをどのように遂行すれば成功するのか計画を立ててコントロールできる。

■授業計画

①リーダーシップについて考える
②自己を認識するためのワーク
③組織マネジメントに関する事例検討
④施策を立案する事例検討
⑤プロジェクトを遂行する事例検討

⑥全体を通してまとめ

■授業方法

アクティブラーニング

■準備学修に必要な学修時間の目安

【予習】
次回の授業内容に関する参考資料を読み、自分の考えをまとめておく。（学修に係る標準時間は約1時間）
【復習】
授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（学修に係る標準時間は約30分）

■教科書

地域医療学入門　診断と治療社
『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』ピーター・F・ドラッカー
『プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門』広兼 修

■参考書

『カモメになったペンギン』ジョン・P・コッター
『チームが機能するとはどういうことか――「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ』エイミー・C・エドモンドソン
『リーダーシップの旅 見えないものを見る』野田 智義 / 金井 壽宏
『【新版】組織行動のマネジメント―入門から実践へ』スティーブン・P・ロビンス

■成績評価方法・評価基準

【成績評価】ポートフォリオ評価（ルーブリックに準ずる）：30%、グループワーク発表：40%、レポート：30%

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099－275－6898

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

地域枠の学生：必ず履修すること
地域枠以外の学生：希望者のみ履修を受け付けます（8名まで：多ければ抽選）

■実務経験のある教員による実践的授業

医師の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

事例の検討・課題解決を通し、医師としての自己認識を意識しながら、組織管理や施策立案、プロジェクトの遂行のための必要

な知識・スキル・態度を学び、地域で働く医師に必要なリーダーシップを発揮できる。

■Phase

1、2

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

PR-01, PR-03, GE-02, GE-04, SO-04, SO-06

■水平統合

地域医療に関わる医師や医療者との交流に関して、動画を用いて疑似体験をする。
総合診療、社会医学と深く関係する。

■垂直統合

微生物学、病理学、解剖学の知識を下に、地域での診療がなされていることを、動画を用いて疑似体験をする。

シャドウイング

Shadowing

ナンバリングコード	FME-MED3404		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	後期	学年	3年
曜日	金	時限	不定
履修期	6期・7期	授業形態	講義・実習
科目区分	必修	単位数	2
対面／遠隔	対面授業	授業回数	12回の予定

■担当教員

【科目責任者】横尾　英孝（医歯学教育開発センター）

■共同担当教員

毛利　翔悟（医歯学教育開発センター）、橋口　照人 (検査部、血管代謝病態解析学)、
山口　宗一 (検査部、血管代謝病態解析学)、竹ノ内　和則 (検査部、血管代謝病態解析学)、
寺薗　英之　（薬剤部）、末次　王卓　（薬剤部）、堀内　正久（衛生学・健康増進医学）、
牛飼　美晴（衛生学・健康増進医学）、郡山　千早（疫学・予防医学）、
中村　雅之（大学病院栄養管理部）、田栗　教子（大学病院栄養管理部）、
西尾　善彦（鹿児島医療センター　院長）、崎向 幸江（鹿児島医療センター　栄養管理室）、
竹原　哲彦（鹿児島赤十字血液センター　所長）

■授業概要

3年次学生が医師と医療の実際、医学生の役割を理解して行動することを目指します。
オリエンテーション講義後に、個人、グループに分かれ、附属病院部門、地域機関等での実習を行います。実習では医学生として責任ある行動が求められます。この科目で修得したことはPhase 3から開始される診療参加型臨床実習の基礎となります。また、知識や技能だけではなく、医師・医学生の考え方や価値観、習慣も修得する科目です。各実習でどのように学ぶか、自己計画、自己学習、自己評価が重要になり、グループで協力して積極的に取組むことにより多くを経験して学びとることができます。

■学修目標

1. 医師が患者および医療チームのメンバーと良好な対人関係を築いて、患者の意志を尊重し医療制度に則った適切な診療を実践していることを説明できる。
2. 病院および地域の医療・保健・福祉を遂行するための、各機関の機能と医師の役割を理解する。
3. 病院と地域の医療の連携および医療・保健・福祉の役割を理解する。
4. 患者、サービス利用者、家族および指導医、スタッフに対して医学生としての態度、行動をとり、医療および保健活動等の実践を見学・体験しながら学習することができる。
5. ロールモデルと接し、医師の在り方を考え、専門職業人としてのキャリア形成と生涯学習の必要性・重要性を認識する。
6. 地域医療への高い関心を持ち、医師が地域から必要とされていることを認識する。
7. 自己の学習の必要性を理解し、指導医の評価を受入れ、学習意欲を保ちながら自己主導で学習することができる。

■授業計画

オリエンテーション（9月2日(火)4-5限）で詳細を説明します。
各自、個別のローテーションで実習します。
※9月12日から12月5日までの毎週金曜日に、以下の内容を個人またはグループでローテーション形式で実習を行う。

■2025年後期　実習予定

◇学内実習

・薬剤部　　・・・全学生

・検査部　　・・・全学生

・栄養１　　・・・半数の学生　大学病院 栄養管理部

◇学外実習

・薬局　　・・・県薬剤師会薬局、薬剤センター薬局等

・健診機関（衛生学）・・・県民総合保健センター、厚生連健康管理センター、いづろ今村病院健康管理センター

・地域医療機関　　・・・35施設程度

・保健センター　　・・・北部、東部、西部、中央、南部、松元地区の保健センター

・栄養２　　・・・半数の学生　鹿児島医療センター 栄養管理室

・血液センター　　・・・鹿児島県赤十字血液センター

■授業方法

講義、実習、レポート、ふりかえりの記載

アクティブラーニング（フイルドワーク、学習の振り返り）

■準備学修に必要な学修時間の目安

【予習】

・次回の授業や実習に関する参考資料を読み、学習の準備をする。（学修に係る標準時間は約1時間）

【復習】

・ふりかえりの記述（学修に係る標準時間は約30分間）

■教科書

オリエンテーション配布資料

■参考書

■成績評価方法・評価基準

授業への積極的参加・・・２０％

実習の観察記録　・・・４０％

課題レポート、ふりかえりの記載・・・４０％

■オフィスアワー

平日14:00～16:00　共通教育棟3階　医歯学教育開発センター

manaba個別指導コレクション（随時）

■連絡先（TEL）

099-275-6869

■連絡先（MAIL）

■担当教員への連絡方法

manaba個別指導コレクション（随時）

■履修条件

臨床実習と同様に、定期健康診断の受診、5種抗体検査と指定のワクチン接種、医学生用賠償責任保健に加入することが履修の上で義務づけられます。その他、教員、指導者の指示に従わない場合は実習に参加できません。

■実務経験のある教員による実践的授業

医師である教員の指導により、学生は医師に求められるプロフェッショナリズム、臨床技能を学習する

■学科目／分野

専門教育科目・プロフェッショナリズム科目

■教育到達目標

1a 1b 1c 2a 2bi 2c 2d 3a 3c 3d

■Phase

6～7

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

A-1-2),3) A-2-1),2) A-3-1) A-4-1),2) A-5-1) A-6-1),2),3) A-7-1) A-9-1) B-1-4)～8) B-4-1) C-5-7),8)

■水平統合

これまでに別々に学んだ社会医学・予防医学や臨床医学を実習を通して統合して学修する。実習は複数の診療科の教員や学内外の医療職が共同で担当している。

■垂直統合

この科目はPhase 3から開始される診療参加型臨床実習の準備教育として位置づけられている。

離島・地域医療実習

Islands and Community Medicine

ナンバリングコード	FME-MED5602		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	通年	学年	5年 6年
曜日	月 火 水 木 金	時限	1限 2限 3限 4限 5限
履修期	10・11期：通年	授業形態	実習
科目区分	必修	単位数	3単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	20回（4週）

■担当教員

大脇　哲洋（地域医療学分野）
網谷　真理恵（地域医療学分野）
嶽崎　俊郎（地域医療支援センター）
指宿　りえ（国際離島医療学分野）
水間　喜美子（離島へき地医療人育成センター）
﨑山　隼人（医療人材連携教育センター）
（各地域医療実習連携医療・福祉機関）

■共同担当教員

各地域医療実習連携医療・福祉機関のコメディカルスタッフ及び事務長、各地域の行政担当者

■授業概要

1.離島・へき地医療実習　10日間
実習初日に鹿児島大学地域医療学教室にてオリエンテーションを行う。
各離島・へき地の医療機関で10日間の臨床実習を行う（実習期間以外に別途移動時間を要する）。離島・へき地で働く現場の医師と共に入院患者の受け持ち、外来診療、訪問診療、巡回診療、保健・福祉分野に関わる活動等を体験し、プライマリ・ケアについて学ぶ。実習第2週金曜日もしくは次週月曜日（離島・へき地医療実習最終日）に同時期実習学生全員での振り返りを鹿児島大学地域医療学教室で行う。
2.在宅診療実習　2日間
鹿児島市内医療機関で在宅診療を2日間実習する。
3.保健指導実習
鹿児島市保健センターの主催する地域のお達者クラブに参加し、保健指導や各取り組みに参加する。
4.がんサポートセンター実習
がん患者さんのピアサポートの取り組みに参加し、その活動を知るとともに、がん患者さんのライフストーリーをナラティブに聞きながら患者理解を深める。
5.グループ学習
①Bio-Psycho-Socialな視点を獲得する。特に、Socialな視点の獲得に比重を置く。
②健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health：SDH）について、実践的な学びを深める。
・健康の社会的決定要因に関する論文の抄読
・健康の社会的決定要因に関する相互発表
・VR動画視聴後、健康の社会的決定要因に関するディスカッション

☆学外実習が実施できない場合の特別課題
　グループ学習を中心とした代替実習を行う。

保健指導実習も中止となった場合、健康講話資料の作成、健康講話の学内発表を行う。

事後レポートの提出あり。

■学修目標

1. 地域医療を取り巻く医療の現状と課題を説明できる。
2. 地域医療に従事する医師の果たす役割について自覚し、行動できる。
3. 地域医療、保健・福祉制度それぞれの機能と連携を理解し、患者を中心とした多職種連携とチーム医療について、説明できる。
4. 個人、家族、地域における疾患と医療の多様性を理解し、全人的医療について述べることができる。
5. プライマリ・ケアについて説明できる。
6. 在宅医療に参加し、在宅医療について説明できる。
7. 地域医療に参加し、基本的な診療を実施できる。
8. 離島・へき地の医療で工夫されているシステム（遠隔医療システムなど）について説明できる。
9. 地域完結型医療と循環型地域医療連携システムについて理解し、医療資源の適切な分配をふまえた倫理的で最善の医療を選択できる。
10. 患者とのコミュニケーションを適切に行い、良好な医師—患者関係を構築することができる。
11. 心理社会的背景を含む患者の抱える問題を包括的に捉え、介入計画を構築することができる。
12. 患者の背景にある健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）に気づいて理解できるようになり、ミクロ・メゾ・マクロレベルへの社会的なアプローチと支援を検討することができるようになる。
13. 患者を支える医療・保健・福祉・地域の連携について、包括的なシステム（地域包括ケアシステム）として地域医療を捉えることができる。

■授業計画

実習機関毎のスケジュール詳細は、manaba参照。

■授業方法

フィールドワークプレゼンテーション学習の振り返り（ミニッツ・ペーパー等）

■準備学修に必要な学修時間の目安

事後レポート作成 （所要時間1時間×4課題）
健康講話資料作成（所要時間3時間）
ポートフォリオへの入力10分

■教科書

国試・改訂コアカリ対応　地域医療学入門（2019年　診断と治療社）

■参考書

なし

■成績評価方法・評価基準

事例・図式化音声スライド　20%
離島へき地医療実習レポート　10%
在宅医療実習レポート　10%
保健指導実習健康講話資料　10%
保健指導実習レポート　10%
がんサポートセンターレポート　10%

グループ学習・プレゼンテーション　10%
グループ学習・ディスカッション　10%
グループ学習レポート　10%

☆実習中止期間の学生については、
学内健康講話発表、資料作成、学内グループディスカッション、グループ発表、レポートにて評価を行う。
（健康講話20%,資料作成20%,グループディスカッション20%,グループ発表20%,レポート20%)

■オフィスアワー

対応可能ならいつでも可。事前確認（099-275-6898）内線6898

■連絡先（TEL）

■連絡先（MAIL）

■担当教員への連絡方法

■履修条件

10・11期

■実務経験のある教員による実践的授業

学生は、診療の現場で指導医のもとで主治医の一員として診療の実際を学習する。

■学科目／分野

臨床実践学／臨床実習

■教育到達目標

2a,2b,2c,2d,3a,3b,3c,3d

■Phase

Phase3

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

G

■水平統合

■垂直統合

地域医療リーダー育成DX演習

Community healthcare leadership development DX exercise

ナンバリングコード	FME-MED5806		
開設年度	2025	開設部局	医学部医学科
学科・プログラム等			
学期	通年	学年	5年 6年
曜日	月 火 水 木 金	時限	不定
履修期	10, 11期	授業形態	演習
科目区分	選択	単位数	0.5単位
対面／遠隔	対面および遠隔授業（対面50%以上）	授業回数	離島・地域医療実習と並行して行い、対面とオンデマンド合わせて、計7コマの演習をおこなう。

■担当教員

【科目責任者】大脇哲洋（地域医療学）
【科目コーディネーター】大脇哲洋（地域医療学）

■共同担当教員

﨑山隼人、網谷真理恵、指宿りえ、水間喜美子

■授業概要

対面の演習（VR教材の視聴、事例検討、グループディスカッション）
地域医療で求められる、総合診療、感染症、救急医療などの分野についてリアリティを持って理解し、地域医療のリーダーとしての自覚を涵養する。

■学修目標

VR疑似体験ツールを用いて、地域医療を中心に擬似体験する
VR疑似体験ツールを用いて、VR教材の意義を考える
事例検討を通して、健康の社会的決定要因と、それを解決する地域における社会システムのあり方を考える。

■授業計画

・対面演習（VR教材、グループディスカッション、プレゼンテーション、振り返りを含む）：4コマ
・事前、事後学習：3コマ

■授業方法

アクティブラーニング（グループディスカッション、プレゼンテーション、振り返り）

■準備学修に必要な学修時間の目安

事前学習や事後学習に1～2時間を含む。

■教科書

地域医療入門　診断と治療社

■参考書

なし

■成績評価方法・評価基準

レポート、プレゼンテーションスライド

■オフィスアワー

平日　15:00～17:00　地域医療学

■連絡先（TEL）

099-275-6853

■連絡先（MAIL）

﨑山隼人（k9218172@kadai.jp ）

■担当教員への連絡方法

地域医療学医局に事前連絡すること

■履修条件

離島・地域医療実習を受講していること

■実務経験のある教員による実践的授業

医師の指導のもとで診療の実際を学習する。

■学科目／分野

医学実践学／地域医療科目

■教育到達目標

1a, 1b, 1c, 3d
VR疑似体験ツールを用いて、感染症について1次救急を体験する
VR疑似体験ツールを用いて、救急医療を体験する
VR疑似体験ツールを用いて、VR教材の意義を考える

■Phase

3

■医学教育モデル・コア・カリキュラム

F, G

■水平統合

救急、感染症、内科など、多くの診療科の知識を要する。

■垂直統合

微生物学、生理学、生化学、解剖学の知識を下に、患者対応を考える。

医　看　第　９６　号
令和７年８月11日

厚生労働省医政局長　殿

鹿児島県保健福祉部長

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和７年８月５日付け７文科高第 666 号、医政発 0805 第５号に基づき、下記のとおり、令和８年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数
２０名
・鹿児島大学医学部における地域枠：２０名

担当：医師・看護人材課医師確保対策係　下園，池田
電話番号：099-286-2667（直通）
メールアドレス：iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分				授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	備考
共通教育科目	初年次教育科目	必修	学術基礎	学び合いの技法	1前	○	1			○								13	
				学術レポートの基礎	1前	○	1			○								13	
			体育・健康科学	体育・健康科学理論	1前	○	1			○								1	
				体育・健康科学実習	1前	○	1					○						4	
			情報活用	情報活用Ⅰ	1前	○	1			○								2	
				情報活用Ⅱ	1前	○	1			○								2	
	小計（6科目）				－	6	6	0	0	－			0	0	0	0	0	24	
	学際教育科目	必修		大学と地域	1後	○	2			○								5	
		選択	地域志向	方言コンテンツを作ろうⅠ	1前			2		○		※						1	※実習
				方言コンテンツを作ろうⅡ	1後			2		○		※						1	※実習
				焼酎	1前			2		○								5	オムニバス
				鹿児島の自然史	1前			2		○								1	
				焼酎	1後			2		○								5	オムニバス
				いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前			2		○								13	オムニバス
				地域コミュニティ論	1前			2		○								1	
				九州・沖縄学(歴史・文化)	1前			2		○								1	
				九州・沖縄学（自然）	1後			2		○								9	オムニバス
				地域リサーチ・スタートアップ	1後			2		○								2	オムニバス
				鹿児島探訪－文化－	1前			2		○								1	
				有機農業Ⅰ　新しい食と農のかたち	1前			2		○								2	オムニバス
				地域環境論	1前			2		○								1	
				いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後			2		○								6	オムニバス
				自然環境保全と世界遺産	1後			2		○								9	オムニバス
			発展・実践	自然学校へ行こう	1前			2				○						3	オムニバス
				「起業」－ビジネスの発見と創出	1後			2		○								2	オムニバス
				知的財産制度の基礎	1後			2		○								1	
				農業実践	1前			1				○						2	オムニバス
				栽培技術実践実習	1後			1				○						2	オムニバス
				キャリアデザイン	1前			2		○								1	
				大学で学ぶ	1前			2		○								3	オムニバス
				自然体験活動入門講座	1前			2				○						2	共同
				地域防災学実践	1前			2		○								4	オムニバス
				キャリアデザイン	1後			2		○								1	
				人生における出会いの意義と役割	1後			2		○								1	
				社会にでる前に知っておきたい社会常識	1後			2		○								4	オムニバス
				防災フィールドワーク	1後			2		○	※							2	オムニバス
				屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後			2		※		○						2	共同
				鹿児島データサイエンス実践	1前			2		○	※							5	オムニバス
				価値創造の場	1前			2		○								2	オムニバス
				金融リテラシーとアントレプレナーシップ	1前			2		○								1	
				島のしくみ	1前			2		○								2	共同
				屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1前			2		※	○							2	共同
				屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1後			2		※		○						2	共同
				屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前			2		○								3	共同
				自己理解・他者理解と障害理解	1後			2		○								1	
	小計（38科目）				－	1	2	72	0	－			0	0	0	0	0	65	
	グローバル教育科目	必修	英語	英語Ⅰ	1前	○	2				○							3	
				英語Ⅱ	1後	○	2				○							3	
		選択	初修外国語	中国語入門Ⅱ	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				独語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				中国語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				中級独語A	1前			1		○								1	
				中級中国語A	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中級仏語A	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅰ	1後			1		○								1	
				中国語入門Ⅰ	1後			1		○								1	
				独語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中国語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中級仏語B	1後			1		○								1	
				中級独語B	1後			1		○								1	
				中級中国語B	1後			1		○								1	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員等の配置 基幹教員（助手を除く）以外の教員	備考
		国際教養	グローバル人材育成（雲南）	1後			2		○								13	共同
			Intercultural Understanding and Acceptance	1前			2		○								1	
			Intercultural Communication for Global Citizens	1後			2		○	※							1	
			南太平洋多島域	1前			2		○								3	オムニバス
			派遣留学スタートアップセミナー	1前			1		○								1	
			派遣留学スタートアップセミナー	1後			1		○								1	
			中国・東北大学研修プログラム（異文化交流・沙漠緑化活動）	1前			2		○		※			1			1	オムニバス、※実習
			進取の精神海外研修inベトナム	1前			2		○								4	共同
			海外異文化体験実習（台湾研修）	1後			2		○								1	
			留学生のための異文化理解	1後			2		○		※						1	※実習
			派遣留学ラップアップセミナー	1後			1		○	※							1	
小計（28科目）				－	2	4	34	0	－			0	0	1	0	0	31	
自然科学科目	選択	教養自然科学	医学・行動心理学入門	1前			2		○					1			1	共同
			実験医学・行動心理学	1前			2				○			1			1	共同
			ウイルスとヒトの病気	1前			2		○								8	オムニバス
			遺伝のしくみ	1前			2		○								2	オムニバス
			教養線形代数学	1前			2		○								1	
			天体観測と科学・技術	1前			2		○								1	
			脳と心の生物学	1前			2		○			5	1	2			3	オムニバス
			生物学入門	1前			2		○								1	
			動物の病気	1前			2		○								15	オムニバス
			宇宙のすがた	1前			2		○								2	オムニバス
			教養の物理学入門	1前			2		○								1	
			動物心理学入門	1後			2		○								1	
			遊び心と科学	1後			2		○								1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後			2		○								1	
			電気電子工学入門	1後			2		○								3	オムニバス
			教養の地球科学	1後			2		○								2	オムニバス
			動物の感覚・脳・行動	1後			2		○			2		1			11	オムニバス
			家畜の歴史	1後			2		○								1	
			化学と環境	1後			2		○								1	
			保健学入門	1後			2		○								1	
			世界を変えた有機分子	1後			2		○								1	
			くらしの化学	1後			2		○								1	
			ロと顔の科学	1前			2		○								15	オムニバス
			がんはなぜおこるのか：がんとの共生	1前			2		○			7	2	1			4	オムニバス
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前			2		○			3	1				3	オムニバス
			医学・脳科学入門	1後			2		○					1			1	
			実験医学・脳科学	1後			2				○			1			1	
			ロと顔の科学	1後			2		○								15	オムニバス
			宇宙・地球における計測・計量	1後			2		○								1	
小計（29科目）				－	0	0	58	0	－			13	4	3	0	0	79	
人文社会科学科目	選択	教養人文社会科学	アメーバ経営	1前			2		○								1	
			教育社会学入門	1前			2		○								1	
			行動科学	1前			2		○								1	
			簿記入門	1前			2		○								1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1前			1		○								2	オムニバス
			古代東アジアの王陵	1後			2		○								1	
			文化人類学の世界	1前			2		○								1	
			貞観政要を読む―帝王学入門―	1前			2		○								1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅰ）	1前			2		○								1	
			美術への誘い	1前			2		○								4	オムニバス
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅱ）	1後			2		○								1	
			行動科学	1後			2		○								1	
			コーポレート・ファイナンス	1後			2		○								1	
			戦後日本外交史	1後			2		○								1	
			アメーバ経営	1後			2		○								1	
			陽明学入門	1後			2		○								1	
			日本国憲法	1後			2		○								1	
			現代哲学入門	1後			2		○								1	
			中国文学の世界	1後			2		○								1	
			大人になるための政治学	1後			2		○								1	
			倫理学入門	1前			2		○								1	
			稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	1前			2		○								4	オムニバス
			身の周りの男女共同参画	1後			2		○			1					8	オムニバス
			映像で学ぶ稲盛哲学	1後			2		○								3	オムニバス
			稲盛和夫のリーダー論	1前			2		○								1	
小計（25科目）				－	0	0	49	0	－			1	0	0	0	0	25	
計（126科目）				－	9	12	213	0	－			13	4	3	0	0	193	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門教育科目	医学概説学	医学導入科目	物理学基礎	1後		2			○							1	
			医学総合実習	1前	○	1					○	3	1			3	集中、オムニバス・共同（一部）
			生命科学(疾病と基礎医学)	1前	○	2			○	※		3	2		1	2	オムニバス
			医学生物学(生物学基礎と発生学)	1後	○	2			○			2	1	1		4	オムニバス
			生化学	1前・後	○	7			○		※	2	1			6	オムニバス・共同（一部）、※実習
			小計（5科目）	－	4	14	0	0	－			6	3	1	1	13	
	疾病病因学	医学医療基礎科目	生理	2前	○	7			○		※	5		3		2	集中、オムニバス、共同（一部）、※実習
			解剖学Ⅰ	2前	○	4			※		○	1	1			2	集中、オムニバス、共同（一部）
			遺伝	2後	○	1			○		※	1				3	オムニバス、共同（一部）、※実習
			免疫	2後	○	3			○		※	1		2		4	集中、オムニバス、※実習
			解剖学Ⅱ	2前	○	7			※		○	1				2	集中、オムニバス、共同（一部）
			微生物	2後	○	5			○		※	1	1			8	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			病理	2後	○	3			○		※	1	1		1		集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			薬理	2後	○	4			○		※	1	1	1		2	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			診断治療基礎	2後	○	3			○			1	2	4	1	6	集中、オムニバス
			小計（9科目）	－	9	37	0	0	－			11	6	10	2	25	
	疾病病態学	総合医療科目	消化器	3前	○	7			○		※	5	6	6	2	19	集中、オムニバス、※実習
			循環器	3前	○	6			○		※	3	2	4	3	9	集中、オムニバス、※実習
			呼吸器	3前	○	4			○		※	2	2	1	5	20	集中、オムニバス、※実習
			内分泌・代謝・栄養	3前	○	4			○		※	2	2	3	2	7	集中、オムニバス、※実習
			腎尿路	3前	○	3			○		※	3	3	1	4	6	集中、オムニバス、※実習
			精神	3後	○	3			○			2		2	2	7	集中、オムニバス
			神経・運動器	3後	○	4			○		※	5	2	5	4	4	集中、オムニバス、※実習
			感覚器	3前	○	3			○			3	1	4	4	14	集中、オムニバス
			生殖・乳房	3後	○	4			○		※	3	2			10	集中、オムニバス、※実習
			発生・発達	3後	○	4			○			4	2	4	3	16	集中、オムニバス
			感染症	3後	○	3			○			1	1			6	集中、オムニバス
			血液・腫瘍	3後	○	3			○			7	2	1	1	8	集中、オムニバス、共同（一部）
			麻酔・集中治療・救急	4前	○	3			○			2		1	1	9	集中、オムニバス
			免疫・アレルギー・膠原病	4前	○	2			○			2	2	1	2	4	集中、オムニバス
			リハビリテーション・老化・終末期医療	4前	○	3			○			1	1	2		13	集中、オムニバス、共同（一部）
			補完医療	3後	○	0.5			○	※		1	2	1		11	集中、オムニバス、共同（一部）
			社会医学・予防医学	4前	○	8			○	※		3		1	1	9	集中、オムニバス、共同（一部）
			医療情報・検査	4前	○	1			○				1		1	3	集中、オムニバス
			地域・総合診療・症候	4前	○	7			○			7	5	2	5	17	集中、オムニバス
			小計（19科目）	－	19	72.5	0	0	－			31	23	33	32	173	

医学実践学	プロフェッショナリズム科目	患者と医療	1前・後	○	2			○		※	1	1		1	1	オムニバス、※実習
		医学英語Ⅰ	1後	○	1			○					1			
		生命倫理・研究倫理	2前	○	0.5			○			4				1	オムニバス
		医学英語Ⅱ	2前	○	1			○					1			
		チーム医療１	2後	○	2			※		○	2	2	1	2	7	オムニバス、共同（一部）
		医療面接１	3前	○	1			※		○	1		1	2	1	集中、オムニバス、共同（一部）
		診療手技１	3前・後	○	2			※		○	1		1	4	1	集中、オムニバス、共同（一部）
		医療倫理	3前	○	0.5			○			1	2	1		6	オムニバス、共同（一部）
		シャドウイング	3後	○	2			※		○	5	2		2	5	オムニバス
		医療面接２	4前	○	0.5			※		○	1	1			1	集中、オムニバス、共同（一部）
		チーム医療２	4後	○	2			※		○	4			1	8	集中、オムニバス、共同（一部）
		診療手技２	4前・後	○	4			※		○	1	2		5	3	集中、オムニバス、共同（一部）
		医学英語Ⅲ	2後			1		○							1	
		小計（13科目）	－	12	18.5	1	0	－			11	5	4	10	28	
	医学研究科目	医学統計学	1後	○	2			○		※	3		1		1	オムニバス、共同（一部）、※演習
		自主研究	4後	○	4				○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究A	1前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究B	2前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究C	3前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究D	4前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究E	5前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究F	6前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		GLOBE海外実習（選択）	全・後			2				○						
		小計（9科目）	－	2	6	14	0	－			31	12	12	17	48	
	地域医療科目	初期地域医療実習1(選択)	1前			1				○	1	1		1	2	
		初期地域医療実習2(選択)	2前			1				○	1	1		1	2	
		地域医療研究(選択)	3前			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダーシップ1(選択)	1後			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダーシップ2(選択)	5後			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダー育成DX演習(選択)	5後			0.5				○	1	1		1	2	
		小計（6科目）	－	0	0	4	0	－			6	6	0	6	12	
臨床実践学	臨床実習	臨床実習	4後～5後	○	48					○	15	19	34	23		
		選択実習	5後・6前	○	15					○	18	18	35	25		
		離島・地域医療実習	5後・6前	○	3					○	1	1		1	2	
		小計（3科目）	－	3	66	0	0	－			18	19	35	25	2	
計（64科目）			－	49	214	19	0	－			37	30	45	34	244	
合計（190科目）			－	58	226	232	0	－			37	30	45	34	437	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	25週
	１時限の授業時間	90分

１．共通教育科目　26単位以上
（１）初年次教育科目　6単位
（２）学際教育科目　6単位
（３）グローバル教育科目　6単位
（４）自然科学科目　2単位
（５）人文社会科学科目　4単位
（６）個別最適化科目　2単位
（個別最適化科目は、科目群によらず全ての選択科目の中から選択可能）

２．専門教育科目　214単位
（１）医学概説学
　医学導入科目　14単位
　疾病病因学
　医学医療基礎科目　37単位
　疾病病態学
　総合医療科目
　医学実践学　72.5単位
　総合医療科目
　医学実践学
　ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ科目　18.5単位
　医学研究科目　6単位
　臨床実践学
　臨床実習　66単位

卒業要件単位数　240単位

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分				授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員等の配置 基幹教員（助手を除く）以外の教員	備考
共通教育科目	初年次教育科目	必修	学術基礎	学び合いの技法	1前	○	1			○								13	
				学術レポートの基礎	1前	○	1			○								13	
			体育・健康科学	体育・健康科学理論	1前	○	1			○								1	
				体育・健康科学実習	1前	○	1					○						4	
			情報活用	情報活用Ⅰ	1前	○	1			○								2	
				情報活用Ⅱ	1前	○	1			○								2	
	小計（6科目）				－	6	6	0	0	－			0	0	0	0	0	24	
	学際教育科目	必修		大学と地域	1後	○	2			○								5	
		選択	地域志向	方言コンテンツを作ろうⅠ	1前			2		○		※						1	※実習
				方言コンテンツを作ろうⅡ	1後			2		○		※						1	※実習
				焼酎	1前			2		○								5	オムニバス
				鹿児島の自然史	1前			2		○								1	
				焼酎	1後			2		○								5	オムニバス
				いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前			2		○								13	オムニバス
				地域コミュニティ論	1前			2		○								1	
				九州・沖縄学(歴史・文化)	1前			2		○								1	
				九州・沖縄学（自然）	1後			2		○								9	オムニバス
				地域リサーチ・スタートアップ	1後			2		○								2	オムニバス
				鹿児島探訪－文化－	1前			2		○								1	
				有機農業Ⅰ　新しい食と農のかたち	1前			2		○								2	オムニバス
				地域環境論	1前			2		○								1	
				いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後			2		○								6	オムニバス
				自然環境保全と世界遺産	1後			2		○								9	オムニバス
			発展・実践	自然学校へ行こう	1前			2				○						3	オムニバス
				「起業」－ビジネスの発見と創出	1後			2		○								2	オムニバス
				知的財産制度の基礎	1後			2		○								1	
				農業実践	1前			1				○						2	オムニバス
				栽培技術実践実習	1後			1				○						2	オムニバス
				キャリアデザイン	1前			2		○								1	
				大学で学ぶ	1前			2		○								3	オムニバス
				自然体験活動入門講座	1前			2				○						2	共同
				地域防災学実践	1前			2		○								4	オムニバス
				キャリアデザイン	1後			2		○								1	
				人生における出会いの意義と役割	1後			2		○								1	
				社会にでる前に知っておきたい社会常識	1後			2		○								4	オムニバス
				防災フィールドワーク	1後			2		○	※							2	オムニバス
				屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後			2		※		○						2	共同
				鹿児島データサイエンス実践	1前			2		○	※							5	オムニバス
				価値創造の場	1前			2		○								2	オムニバス
				金融リテラシーとアントレプレナーシップ	1前			2		○								1	
				島のしくみ	1前			2		○								2	共同
				屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1前			2		※	○							2	共同
				屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1後			2		※		○						2	共同
				屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前			2		○								3	共同
				自己理解・他者理解と障害理解	1後			2		○								1	
	小計（38科目）				－	1	2	72	0	－			0	0	0	0	0	65	
	グローバル教育科目	必修	英語	英語Ⅰ	1前	○	2				○							3	
				英語Ⅱ	1後	○	2				○							3	
		選択	初修外国語	中国語入門Ⅱ	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				独語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				中国語入門Ⅰ	1前			1		○								1	
				中級独語A	1前			1		○								1	
				中級中国語A	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中級仏語A	1前			1		○								1	
				韓国語入門Ⅰ	1後			1		○								1	
				中国語入門Ⅰ	1後			1		○								1	
				独語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中国語入門Ⅱ	1後			1		○								1	
				中級仏語B	1後			1		○								1	
				中級独語B	1後			1		○								1	
				中級中国語B	1後			1		○								1	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員等の配置 基幹教員（助手を除く）以外の教員	備考
		国際教養	グローバル人材育成（雲南）	1後			2		○								13	共同
			Intercultural Understanding and Acceptance	1前			2		○								1	
			Intercultural Communication for Global Citizens	1後			2		○	※							1	
			南太平洋多島域	1前			2		○								3	オムニバス
			派遣留学スタートアップセミナー	1前			1		○								1	
			派遣留学スタートアップセミナー	1後			1		○								1	
			中国・東北大学研修プログラム（異文化交流・沙漠緑化活動）	1前			2		○		※			1			1	オムニバス、※実習
			進取の精神海外研修inベトナム	1前			2		○								4	共同
			海外異文化体験実習（台湾研修）	1後			2		○								1	
			留学生のための異文化理解	1後			2		○		※						1	※実習
			派遣留学ラップアップセミナー	1後			1		○	※							1	
			小計（28科目）	－	2	4	34	0		－		0	0	1	0	0	31	
自然科学科目	選択	教養自然科学	医学・行動心理学入門	1前			2		○					1			1	共同
			実験医学・行動心理学	1前			2				○			1			1	共同
			ウイルスとヒトの病気	1前			2		○								8	オムニバス
			遺伝のしくみ	1前			2		○								2	オムニバス
			教養線形代数学	1前			2		○								1	
			天体観測と科学・技術	1前			2		○								1	
			脳と心の生物学	1前			2		○			5	1	2			3	オムニバス
			生物学入門	1前			2		○								1	
			動物の病気	1前			2		○								15	オムニバス
			宇宙のすがた	1前			2		○								2	オムニバス
			教養の物理学入門	1前			2		○								1	
			動物心理学入門	1後			2		○								1	
			遊び心と科学	1後			2		○								1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後			2		○								1	
			電気電子工学入門	1後			2		○								3	オムニバス
			教養の地球科学	1後			2		○								2	オムニバス
			動物の感覚・脳・行動	1後			2		○			2		1			11	オムニバス
			家畜の歴史	1後			2		○								1	
			化学と環境	1後			2		○								1	
			保健学入門	1後			2		○								1	
			世界を変えた有機分子	1後			2		○								1	
			くらしの化学	1後			2		○								1	
			ロと顔の科学	1前			2		○								15	オムニバス
			がんはなぜおこるのか：がんとの共生	1前			2		○			7	2	1			4	オムニバス
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前			2		○			3	1				3	オムニバス
			医学・脳科学入門	1後			2		○					1			1	
			実験医学・脳科学	1後			2				○			1			1	
			ロと顔の科学	1後			2		○								15	オムニバス
			宇宙・地球における計測・計量	1後			2		○								1	
			小計（29科目）	－	0	0	58	0		－		13	4	3	0	0	79	
人文社会科学科目	選択	教養人文社会科学	アメーバ経営	1前			2		○								1	
			教育社会学入門	1前			2		○								1	
			行動科学	1前			2		○								1	
			簿記入門	1前			2		○								1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1前			1		○								2	オムニバス
			古代東アジアの王陵	1後			2		○								1	
			文化人類学の世界	1前			2		○								1	
			貞観政要を読む―帝王学入門―	1前			2		○								1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅰ）	1前			2		○								1	
			美術への誘い	1前			2		○								4	オムニバス
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅱ）	1後			2		○								1	
			行動科学	1後			2		○								1	
			コーポレート・ファイナンス	1後			2		○								1	
			戦後日本外交史	1後			2		○								1	
			アメーバ経営	1後			2		○								1	
			陽明学入門	1後			2		○								1	
			日本国憲法	1後			2		○								1	
			現代哲学入門	1後			2		○								1	
			中国文学の世界	1後			2		○								1	
			大人になるための政治学	1後			2		○								1	
			倫理学入門	1前			2		○								1	
			稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	1前			2		○								4	オムニバス
			身の周りの男女共同参画	1後			2		○			1					8	オムニバス
			映像で学ぶ稲盛哲学	1後			2		○								3	オムニバス
			稲盛和夫のリーダー論	1前			2		○								1	
			小計（25科目）	－	0	0	49	0		－		1	0	0	0	0	25	
計（126科目）				－	9	12	213	0		－		13	4	3	0	0	193	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門教育科目	医学概説学	医学導入科目	物理学基礎	1後		2			○							1	
			医学総合実習	1前	○	1					○	3	1			3	集中、オムニバス・共同（一部）
			生命科学(疾病と基礎医学)	1前	○	2			○	※		3	2		1	2	オムニバス
			医学生物学(生物学基礎と発生学)	1後	○	2			○			2	1	1		4	オムニバス
			生化学	1前・後	○	7			○		※	2	1			6	オムニバス・共同（一部）、※実習
			小計（5科目）	－	4	14	0	0	－			6	3	1	1	13	
	疾病病因学	医学医療基礎科目	生理	2前	○	7			○		※	5		3		2	集中、オムニバス、共同（一部）、※実習
			解剖学Ⅰ	2前	○	4			※		○	1	1			2	集中、オムニバス、共同（一部）
			遺伝	2後	○	1			○		※	1				3	オムニバス、共同（一部）、※実習
			免疫	2後	○	3			○		※	1		2		4	集中、オムニバス、※実習
			解剖学Ⅱ	2前	○	7			※		○	1				2	集中、オムニバス、共同（一部）
			微生物	2後	○	5			○		※	1	1			8	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			病理	2後	○	3			○		※	1	1		1		集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			薬理	2後	○	4			○		※	1	1	1		2	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			診断治療基礎	2後	○	3			○			1	2	4	1	6	集中、オムニバス
			小計（9科目）	－	9	37	0	0	－			11	6	10	2	25	
	疾病病態学	総合医療科目	消化器	3前	○	7			○		※	5	6	6	2	19	集中、オムニバス、※実習
			循環器	3前	○	6			○		※	3	2	4	3	9	集中、オムニバス、※実習
			呼吸器	3前	○	4			○		※	2	2	1	5	20	集中、オムニバス、※実習
			内分泌・代謝・栄養	3前	○	4			○		※	2	2	3	2	7	集中、オムニバス、※実習
			腎尿路	3前	○	3			○		※	3	3	1	4	6	集中、オムニバス、※実習
			精神	3後	○	3			○			2		2	2	7	集中、オムニバス
			神経・運動器	3後	○	4			○		※	5	2	5	4	4	集中、オムニバス、※実習
			感覚器	3前	○	3			○			3	1	4	4	14	集中、オムニバス
			生殖・乳房	3後	○	4			○		※	3	2			10	集中、オムニバス、※実習
			発生・発達	3後	○	4			○			4	2	4	3	16	集中、オムニバス
			感染症	3後	○	3			○			1	1			6	集中、オムニバス
			血液・腫瘍	3後	○	3			○			7	2	1	1	8	集中、オムニバス、共同（一部）
			麻酔・集中治療・救急	4前	○	3			○			2		1	1	9	集中、オムニバス
			免疫・アレルギー・膠原病	4前	○	2			○			2	2	1	2	4	集中、オムニバス
			リハビリテーション・老化・終末期医療	4前	○	3			○			1	1	2		13	集中、オムニバス、共同（一部）
			補完医療	3後	○	0.5			○	※		1	2	1		11	集中、オムニバス、共同（一部）
			社会医学・予防医学	4前	○	8			○	※		3		1	1	9	集中、オムニバス、共同（一部）
			医療情報・検査	4前	○	1			○				1		1	3	集中、オムニバス
			地域・総合診療・症候	4前	○	7			○			7	5	2	5	17	集中、オムニバス
			小計（19科目）	－	19	72.5	0	0	－			31	23	33	32	173	

医学実践学	プロフェッショナリズム科目	患者と医療	1前・後	○	2			○		※	1	1		1	1	オムニバス、※実習
		医学英語Ⅰ	1後	○	1			○					1			
		生命倫理・研究倫理	2前	○	0.5			○			4				1	オムニバス
		医学英語Ⅱ	2前	○	1			○					1			
		チーム医療１	2後	○	2			※		○	2	2	1	2	7	オムニバス、共同（一部）
		医療面接１	3前	○	1			※		○	1		1	2	1	集中、オムニバス、共同（一部）
		診療手技１	3前・後	○	2			※		○	1		1	4	1	集中、オムニバス、共同（一部）
		医療倫理	3前	○	0.5			○			1	2	1		6	オムニバス、共同（一部）
		シャドウイング	3後	○	2			※		○	5	2		2	5	オムニバス
		医療面接２	4前	○	0.5			※		○	1	1			1	集中、オムニバス、共同（一部）
		チーム医療２	4後	○	2			※		○	4			1	8	集中、オムニバス、共同（一部）
		診療手技２	4前・後	○	4			※		○	1	2		5	3	集中、オムニバス、共同（一部）
		医学英語Ⅲ	2後			1		○							1	
		小計（13科目）	－	12	18.5	1	0	－			11	5	4	10	28	
	医学研究科目	医学統計学	1後	○	2			○		※	3		1		1	オムニバス、共同（一部）、※演習
		自主研究	4後	○	4				○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究A	1前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究B	2前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究C	3前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究D	4前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究E	5前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		自主研究F	6前・後			2			○		31	12	12	17	48	共同
		GLOBE海外実習（選択）	全・後			2				○						
		小計（9科目）	－	2	6	14	0	－			31	12	12	17	48	
	地域医療科目	初期地域医療実習1(選択)	1前			1				○	1	1		1	2	
		初期地域医療実習2(選択)	2前			1				○	1	1		1	2	
		地域医療研究(選択)	3前			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダーシップ1(選択)	1後			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダーシップ2(選択)	5後			0.5				○	1	1		1	2	
		地域医療リーダー育成DX演習(選択)	5後			0.5				○	1	1		1	2	
		小計（6科目）	－	0	0	4	0	－			6	6	0	6	12	
臨床実践学	臨床実習	臨床実習	4後～5後	○	48					○	15	19	34	23		
		選択実習	5後・6前	○	15					○	18	18	35	25		
		離島・地域医療実習	5後・6前	○	3					○	1	1		1	2	
		小計（3科目）	－	3	66	0	0	－			18	19	35	25	2	
計（64科目）			－	49	214	19	0	－			37	30	45	34	244	
合計（190科目）			－	58	226	232	0	－			37	30	45	34	437	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	25週
	１時限の授業時間	90分

１．共通教育科目　26単位以上
（１）初年次教育科目　6単位
（２）学際教育科目　6単位
（３）グローバル教育科目　6単位
（４）自然科学科目　2単位
（５）人文社会科学科目　4単位
（６）個別最適化科目　2単位
（個別最適化科目は、科目群によらず全ての選択科目の中から選択可能）

２．専門教育科目　214単位
（１）医学概説学
　医学導入科目　14単位
　疾病病因学
　医学医療基礎科目　37単位
　疾病病態学
　総合医療科目
　医学実践学　72.5単位
　総合医療科目
　医学実践学
　ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ科目　18.5単位
　医学研究科目　6単位
　臨床実践学
　臨床実習　66単位

卒業要件単位数　240単位